

令和元年度

市内遺跡発掘調査等事業報告書

2021

甲州市教育委員会

令和元年度

市内遺跡発掘調査等事業報告書

2021

甲州市教育委員会

序

甲州市は塩山・勝沼・大和の各地域からなりますが、それぞれが独自の歴史文化を築いてきたため、豊富な文化資源に恵まれている市です。

遺跡についても同様で、市内には勝沼氏館跡・甲斐金山遺跡（黒川金山）の二つの国指定史跡が所在し、他にも多くの遺跡が眠っています。

本書は、令和元年度に国庫補助事業として実施した、市内遺跡発掘調査等事業にかかる報告書です。元年度は12地点の遺跡について試掘調査を行っております。

今後も市内遺跡の保護保存が図られるよう、国・県のご指導もいただきながら、発掘調査事業を進めていきたいと考えておりますので、関係各位には一層のご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月26日

甲州市教育委員会

教育長 保坂 一仁

例　言

- 1 本書は、令和元年度市内遺跡発掘調査等事業にかかる実施報告書である。
- 2 事業は、文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金により行った。
- 3 事業の期間は、平成 31（2019）年 4 月 1 日から令和 2（2020）年 3 月 31 日までである。
- 4 本書にかかる出土品、図面、写真等の記録類は、甲州市教育委員会で保管している。

凡　例

- 1 本書中、各遺跡の調査地点を示した図（4 ページ）は国土地理院発行の 1/50,000 地形図（御岳昇仙峡、丹波、都留）を改変して使用した。
- 2 縮尺、方位等は各図中に示した。方位の無いものは真上北である。
- 3 各遺跡の説明中にある「調査対象位置図」は、甲州市の都市計画図（1/2,500）を改変して使用した。

目　次

序

例言・凡例・目次

第 1 章 遺跡の所在確認業務について 1

第 2 章 発掘調査等について 1

第 3 章 発掘調査等の概要 2

　　第 1 節 事業費 2

　　1 事業経費収支予算書 2

　　2 事業経費収支精算書 3

　　第 2 節 発掘調査等 5

　　1 法正院 1406-1 他 5

　　2 向原 888-1 8

　　3 西田遺跡 12

　　4 宮之前遺跡 15

　　5 下三狐神遺跡 19

　　6 蓮台原 550-1 23

　　7 ケ力チ遺跡 27

　　8 西田遺跡 30

　　9 神戸 A 遺跡 33

　　10 町屋 1187-1 他 38

　　11 切付平 414-1 他 41

　　12 五反田遺跡 45

抄録・奥付

第1章 遺跡の所在確認業務について

令和元年度の甲州市教育委員会における文化財関係組織は、次の通りである。

保坂一仁	甲州市教育委員会教育長		
飯島 泉	教育委員会文化財課長		
小野正文	文化財課文化財指導監		
廣瀬勝正	歴史まちづくり・文化財保護担当リーダー（兼務）		
田村和王	文化財課歴史まちづくり担当	入江俊行	文化財課文化財保護担当
前嶋康太郎	文化財課歴史まちづくり担当	廣瀬昭久	文化財課文化財保護担当
萩原麻由	文化財課歴史まちづくり担当	土屋裕輝	文化財課文化財保護担当

開発計画に伴う遺跡の所在確認と不動産鑑定に伴う遺跡の所在確認については、元年度は333件を数えた。内訳は、開発計画に伴うもの299件、不動産鑑定に伴うもの34件であった。

第2章 発掘調査等について

遺跡の所在確認後、周知の包蔵地内で開発の計画がある場合について、「埋蔵文化財発掘の届出・通知」（文化財保護法第93条及び94条）の提出を受け、以下のように対応した。

93条は民間の開発行為に伴うもので、36件の届出があり、試掘調査5件、工事立会28件、慎重工事3件の対応を行った。94条は公共の開発行為に伴うもので、4件の通知があり、試掘調査3件、工事立会1件の対応を行った。94条の試掘調査のうち1件は、国道414号線拡幅に伴う馬場平遺跡の調査であり、山梨県埋蔵文化財センターが実施したものである。他に包蔵地外の開発行為に対して、試掘調査5件、慎重工事1件の対応を行った。

本書では市教育委員会で実施した12件の試掘調査について、報告する。

なお、発掘調査等の体制は次の通りである。

発掘調査担当者 入江

発掘調査・整理作業員 雨宮久美子・栗原礼子・萩原里江子・正木なつ子・矢崎真佐美・吉原智美

第3章 発掘調査等の概要

第1節 事業費

1 事業経費収支予算書

収入の部

	金額	備考
国庫補助金	1,000,000円	補助対象経費の50%
県費補助金	500,000円	国補残の50%以内
甲州市負担金	500,000円	国・県補助残
計	2,000,000円	

支出の部

	金額	備考
報償費	0円	
旅費	0円	
賃金	952,000円	発掘76日×7,000円、整理70日×6,000円
需要費	400,000円	
消耗品費	20,500円	調査・整理作業消耗品
印刷製本費	379,500円	報告書1,150円×300冊×1.1、他写真・資料コピー等
役務費	0円	
委託料	0円	
使用料及び賃借料	648,000円	機械借上げ32,400円×20日
計	2,000,000円	

2 事業経費収支精算書

収入の部

(上段：精算額 下段：予算額)

	金額	備考
国庫補助金	1,000,000 円	補助対象経費の 50%
	1,000,000 円	
県費補助金	500,000 円	国補残の 50%以内
	500,000 円	
甲州市負担金	576,925 円	国・県補助残
	500,000 円	
計	2,076,925 円	補助対象経費
	2,000,000 円	

支出の部

(上段：精算額 下段：予算額)

	金額	備考
報償費	0 円	
	0 円	
旅費	0 円	
	0 円	
賃金	1,121,000 円	発掘 20 日 × 7,000 円、整理 163.5 日 × 6,000 円
	952,000 円	
需要費	301,325 円	
	400,000 円	
消耗品費	20,825 円	調査・整理作業消耗品
	20,500 円	
印刷製本費	280,500 円	平成 30 年度市内遺跡発掘調査等事業報告書
	379,500 円	
役務費	0 円	
	0 円	
委託料	0 円	
	0 円	
使用料及び賃借料	654,600 円	重機（バックホー）
	648,000 円	
計	2,076,925 円	
	2,000,000 円	



1. 法正院 1406-1 他 2. 向原 888-1 3・8. 西田遺跡 4. 宮之前遺跡 5. 下三狐神遺跡
 6. 蓬台原 550-1 7. ケカチ遺跡 9. 神戸A遺跡 10. 町屋 1187-1 他 11. 切付平 414-1 他
 12. 五反田遺跡

令和元年度市内遺跡発掘調査地点

第2節 発掘調査等

1 法正院 1406-1 他

- (1) 所在地 甲州市塩山上於曾字法正院 1406-1、1407-1
- (2) 調査面積 14.35m²
- (3) 調査期間 令和元年 6月 25 日～26 日
- (4) 調査原因 宅地造成
- (5) 調査結果

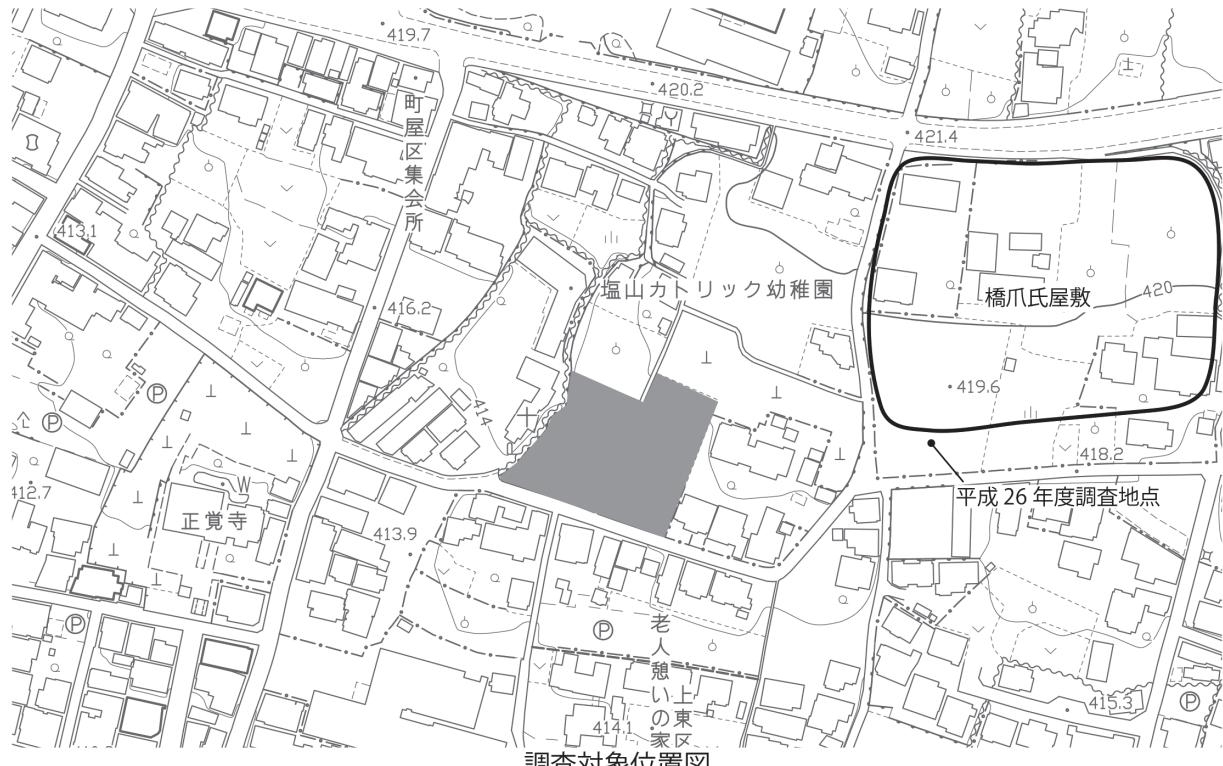
当地は埋蔵文化財包蔵地「橋爪氏屋敷」の西方に位置する。橋爪氏屋敷では平成 26 年度の調査で平安時代の集落跡が検出されており、この集落が当地まで展開しているか確認するため、協議の上、工事着工前に試掘調査を実施することとした。

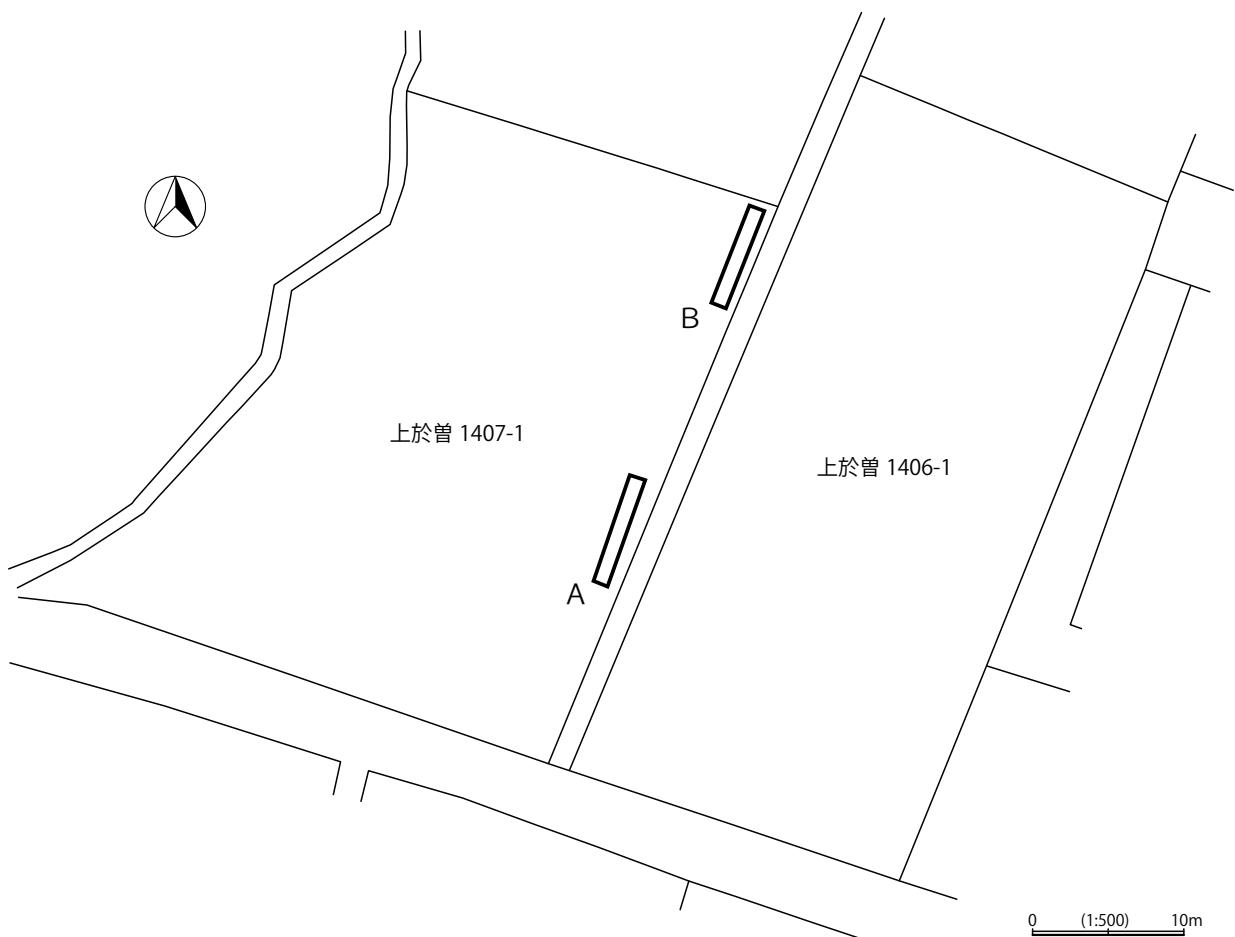
進入路予定範囲内に 2 か所のトレンチ（A・B）を設定した。

A トレンチは 7.45m × 1.0m で設定し、地表下 20cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構・遺物は検出されなかった。

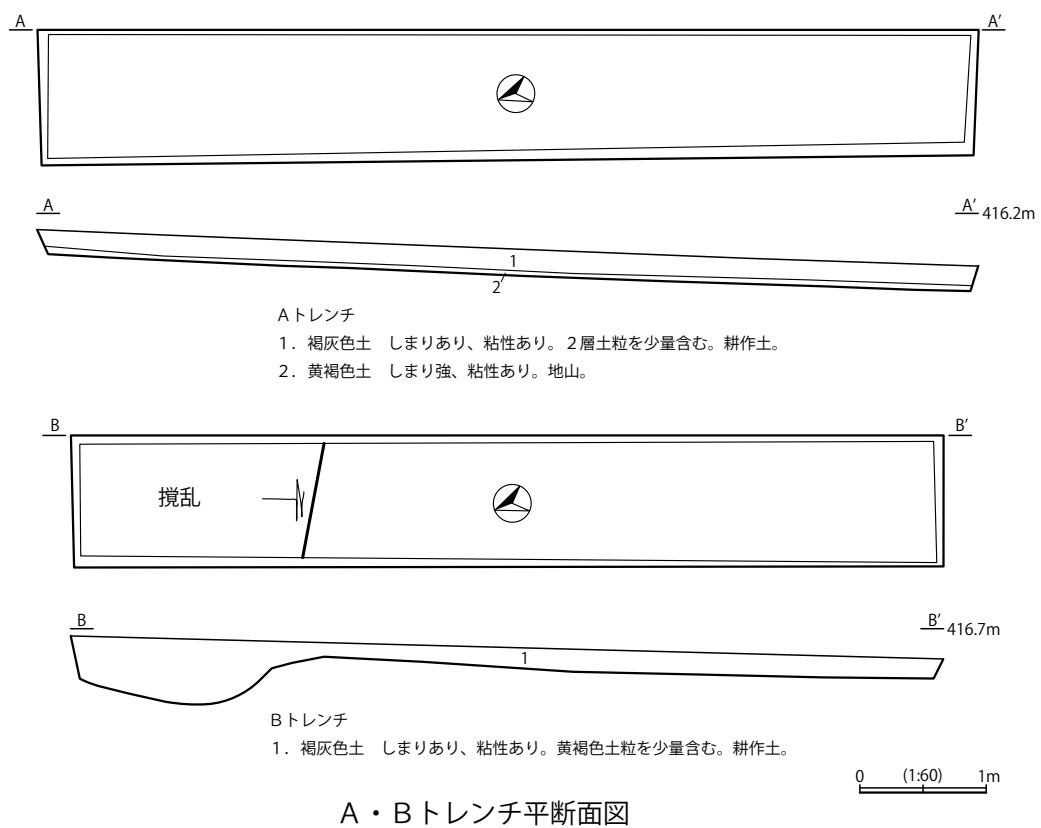
B トレンチは計画建物の範囲外に 6.9m × 1m で設定し、地表下 20cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構・遺物は検出されなかった。

調査の結果、設定したトレンチから遺構・遺物とも検出されなかった。敷地内の地表面も観察したが、遺物の散布は見られず、当地内に遺跡の存在は認められないため、本調査は実施しないこととした。





試掘トレンチ配置図



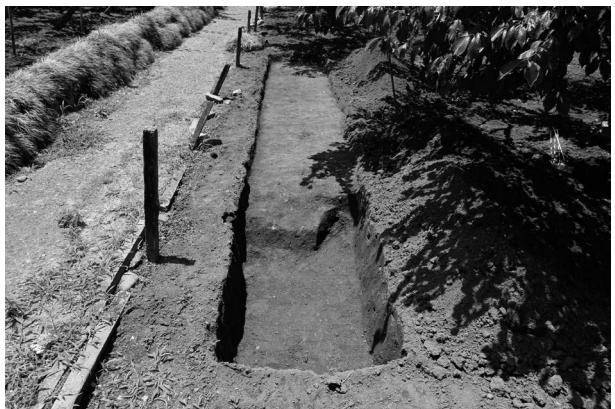
A・Bトレンチ平断面図



A テレンチ精査状況（北から）



A テレンチ土層断面（西から）



B テレンチ精査状況（北から）



B テレンチ土層断面（西から）

2 向原 888-1

(1) 所在地 甲州市塩山下塩後字向原 888-1

(2) 調査面積 71.2m²

(3) 調査期間 令和元年 7月 30 日～8月 2 日

(4) 調査原因 サービス付高齢者住宅

(5) 調査結果

当地の周辺には「扇田 B 遺跡」や「向原遺跡」などの埋蔵文化財包蔵地が点在しており、サービス付高齢者住宅の建設に伴い、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施することとした。

計画敷地内に 4か所のトレンチ（A～D）を設定し、調査を行った。

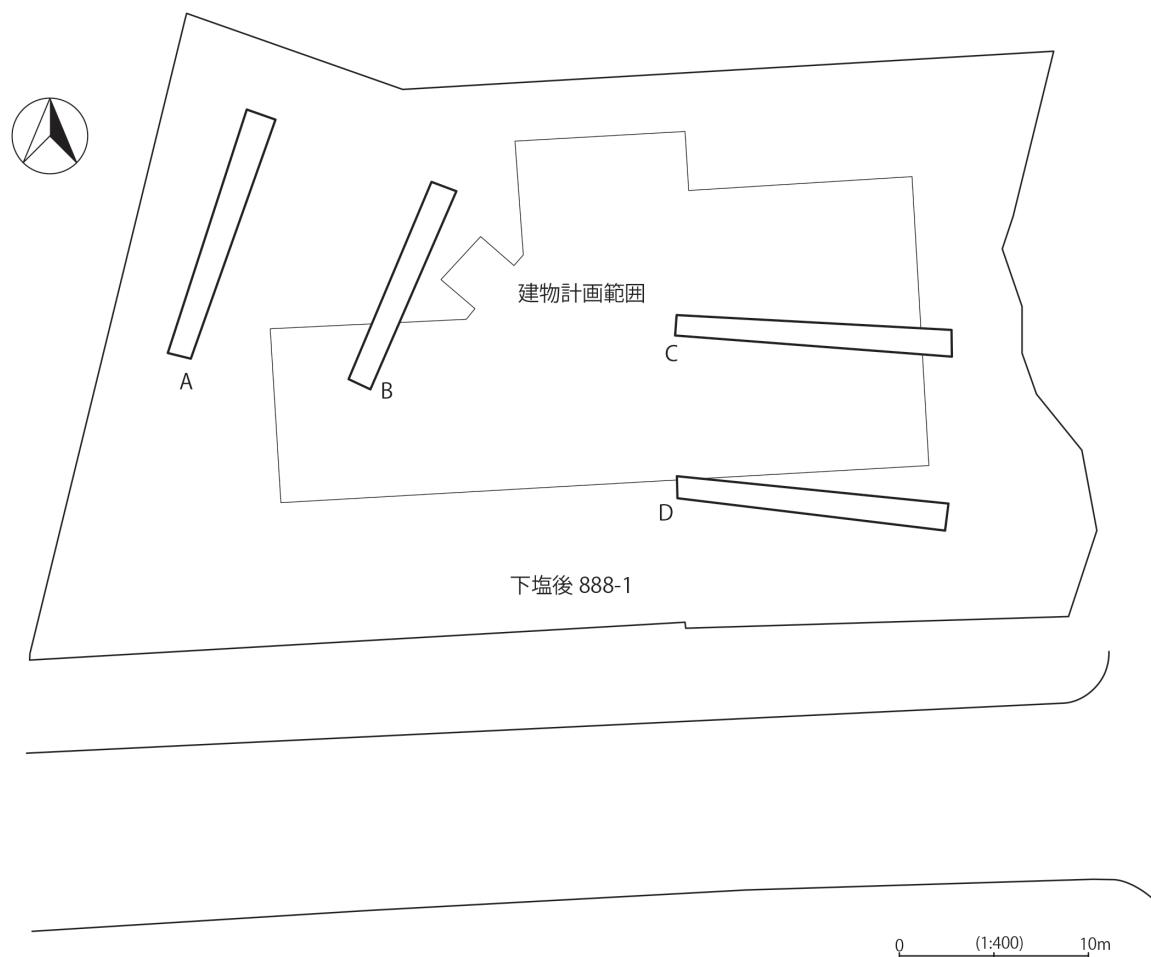
A トレンチは敷地の北西部分で南北方向に設定した。トレンチの規模は 13.4m × 1.2m で、地表下 40～50cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構は検出されなかった。遺物も検出されなかった。

B トレンチは A トレンチの東側で南北方向に設定した。トレンチの規模は 11.3m × 1.2m で、地表下 40～50cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構は検出されなかった。遺物は土師器片が検出された。

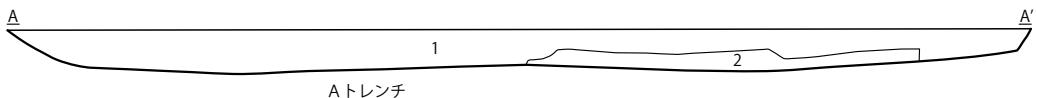
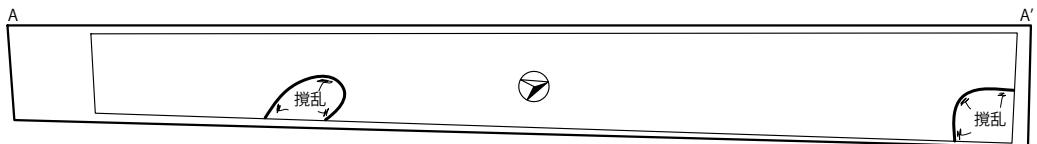
C トレンチは敷地の東側で東西方向に設定した。トレンチの規模は 14.5m × 1.1m で設定し、地表下 60～80cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行った。遺構は検出されなかったが、トレンチの中央から東端にかけて谷状の落ち込みがみられた。円礫が顕著に検出されており、流路の跡と考えられる。遺物は縄文土器片、磁器片、瓦片が検出された。

D トレンチは C トレンチの南側で東西方向に設定した。トレンチの規模は 14.3m × 1.2m で、地表下 60～70cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構は検出されなかった。遺物は土師器小片が検出された。

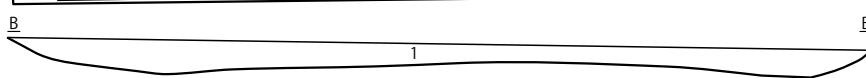
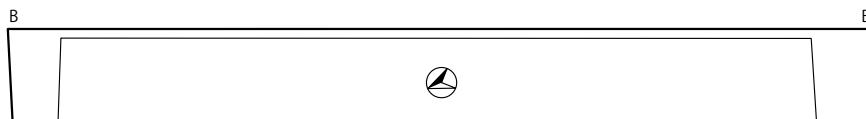
調査の結果、遺構は検出されなかった。遺物が若干検出されたが、いずれも小片で摩耗が著しく周辺からの流れ込んだ遺物と考えられる。当地内に遺跡の存在は認められず、本調査は実施しないこととした。



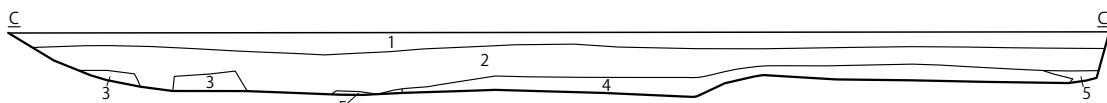
試掘トレンチ配置図



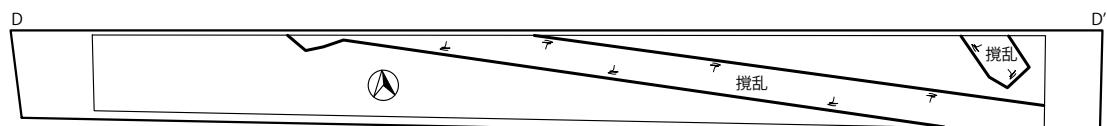
A レンチ
1. 褐灰色砂質土 しまり・粘性ややあり。表土
2. 暗黄褐色砂質土 しまり・粘性あり。黄褐色砂質土ブロック含む。



B レンチ
1. 褐灰色砂質土 しまり・粘性ややあり。表土



C レンチ
1. 褐灰色砂質土 しまり・粘性ややあり。表土
2. 褐灰色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。
3. 褐灰色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。黄褐色砂質土ブロック含む。
4. 灰褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。



D レンチ
1. 褐灰色砂質土 しまり・粘性ややあり。表土
2. 褐灰色砂質土 暗黄褐色土ブロック含む。しまりあり、粘性ややあり。
3. 暗黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。

0 (1:100) 2m

A～D レンチ断面図



A トレンチ精査状況（南から）



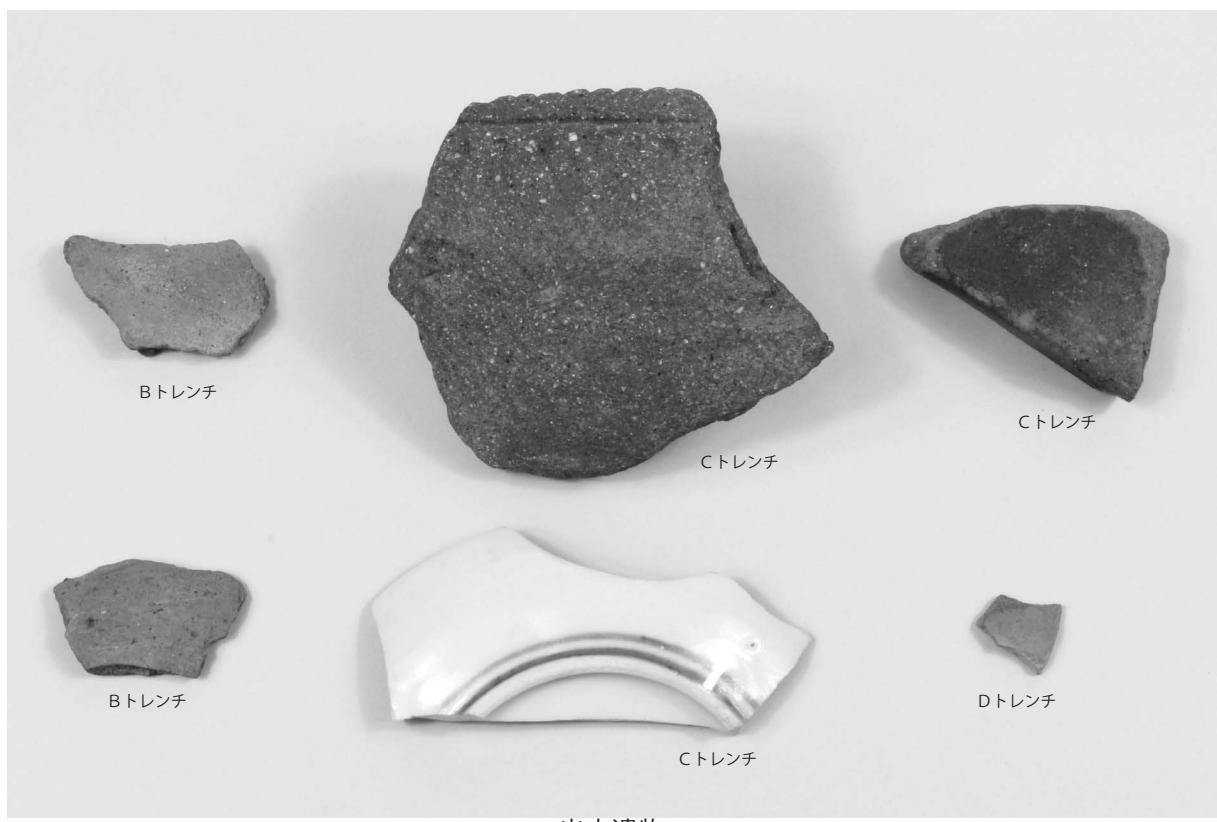
B トレンチ精査状況（北から）



C トレンチ精査状況（西から）



D トレンチ精査状況（西から）



出土遺物

3 西田遺跡

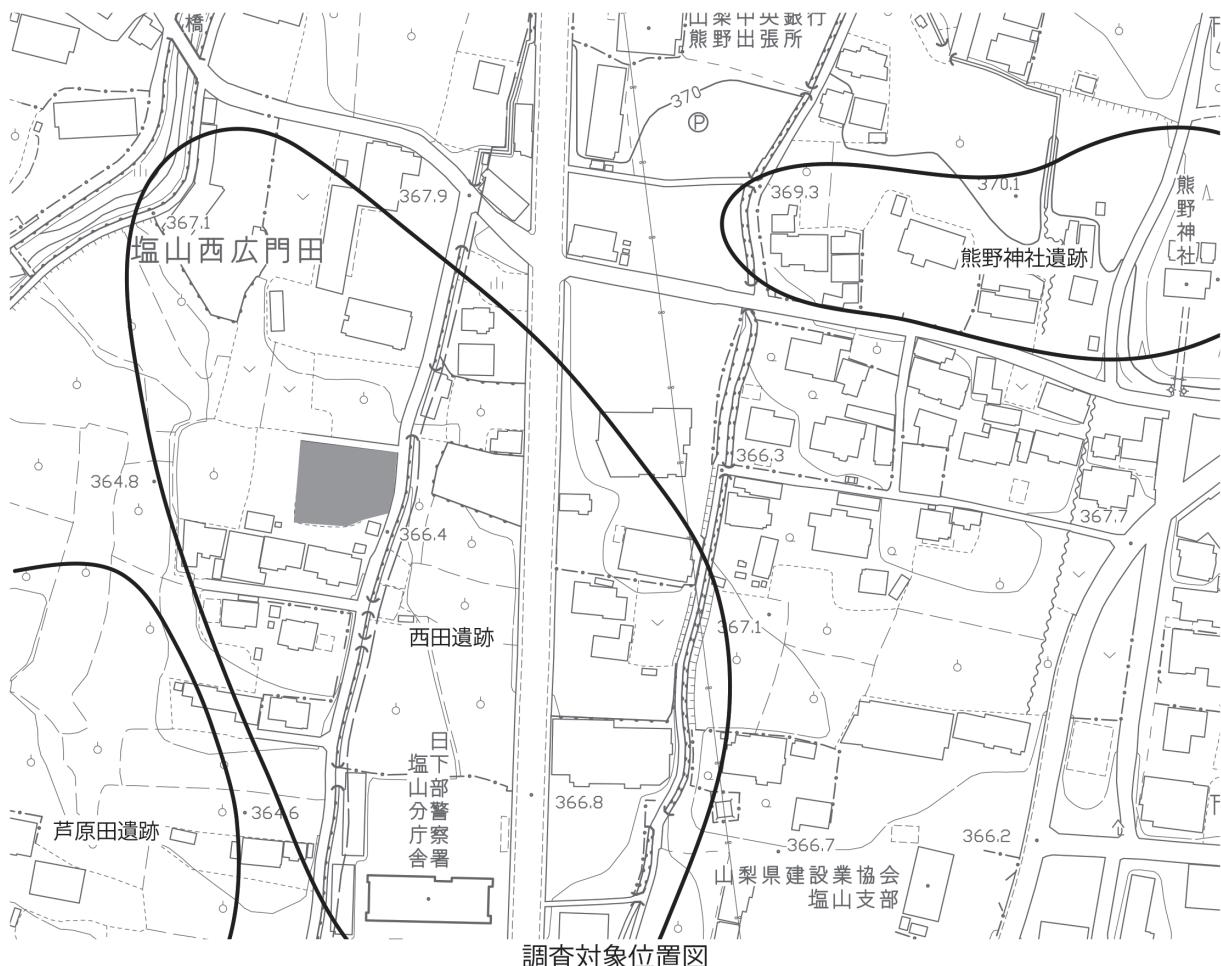
- (1) 所在地 甲州市塩山西広門田字芦原田 266-3、267-1
- (2) 調査面積 12m²
- (3) 調査期間 令和元年8月6日～8月16日
- (4) 調査原因 宅地造成
- (5) 調査結果

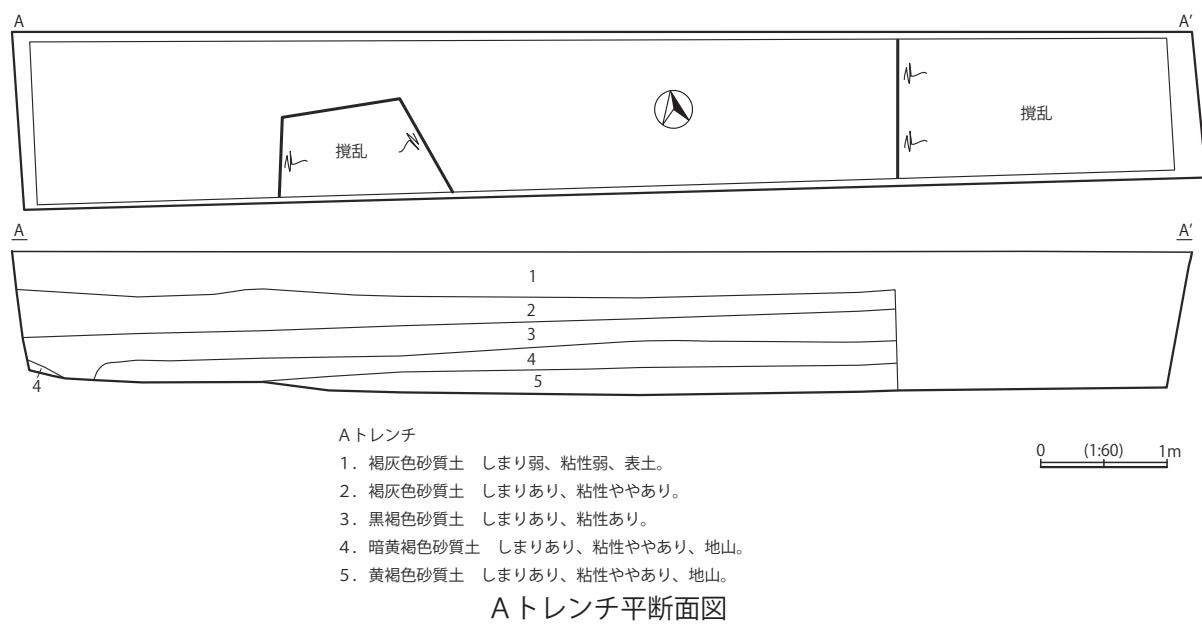
当地は埋蔵文化財包蔵地「西田遺跡」の範囲に含まれており、宅地造成の工事が実施されることとなったため、事前に試掘調査を実施して遺跡の存在を確認することとした。

計画敷地内の進入路予定地点にトレーニング（A）を設定し、調査を行った。

Aトレーニングは敷地の東側部分で東西方向に設定した。トレーニングの規模は9.3m×1.2mで、地表下80cmまで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが、遺構・遺物とも検出されなかった。

調査の結果、遺構・遺物とも検出されなかったため、本調査は実施しないこととした。







A トレンチ精査状況（西から）



A トレンチ土層断面（南から）

4 宮之前遺跡

(1) 所在地 甲州市塩山上塩後字宮之前 584-1

(2) 調査面積 38.2m²

(3) 調査期間 令和元年 9月 3日～9月 6日

(4) 調査原因 宅地造成

(5) 調査結果

当地は埋蔵文化財包蔵地「宮之前遺跡」の範囲内に含まれており、宅地造成の工事が計画されたため、事前に試掘調査を実施して遺跡の存在を確認することとした。

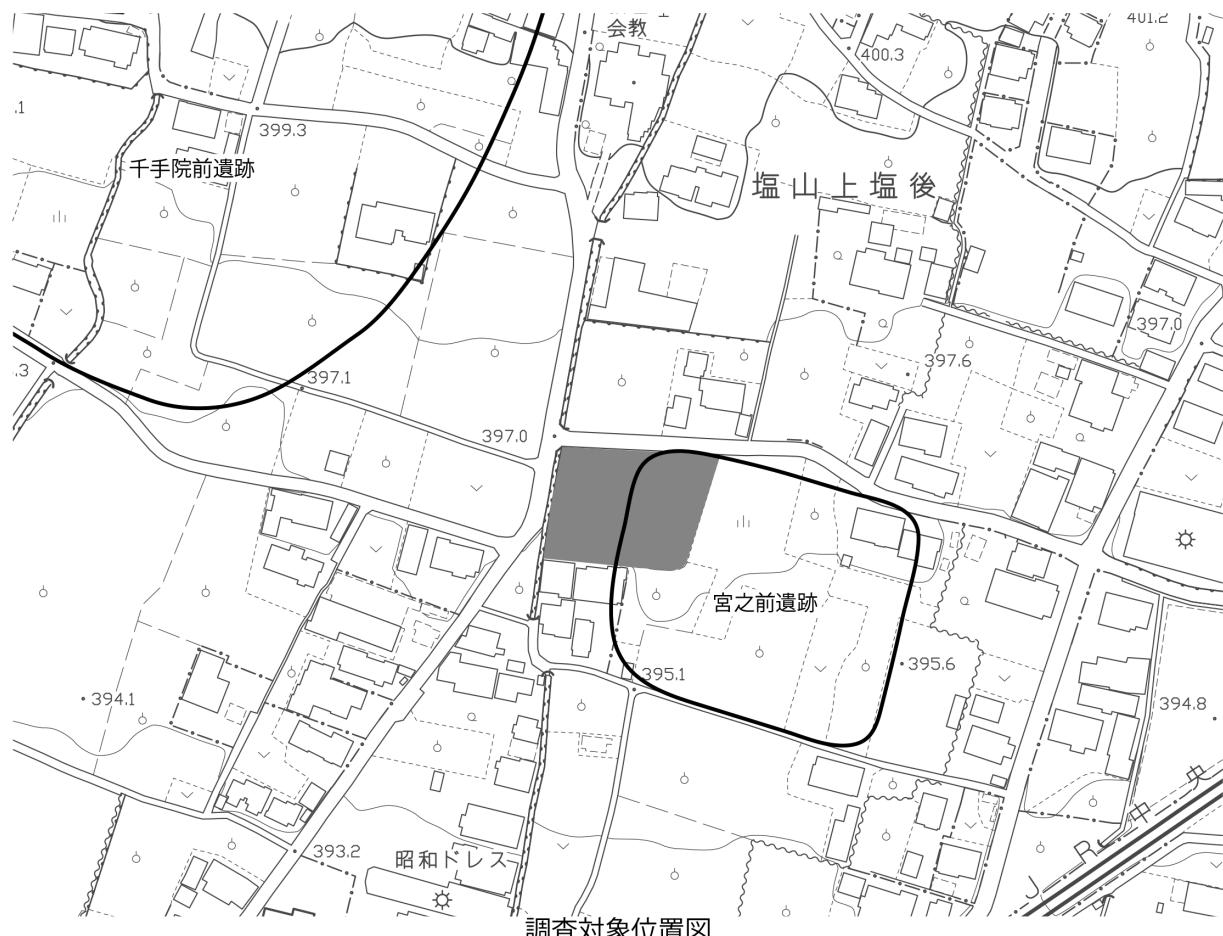
計画敷地内に 3か所のトレンチ（A～C）を設定し、調査を行った。

A トレンチは敷地の南側部分で東西方向に設定した。トレンチの規模は 11.4m × 1.1m で、地表下 50～60cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構は検出されなかった。遺物は土器片（土師器？）1 点を検出した。

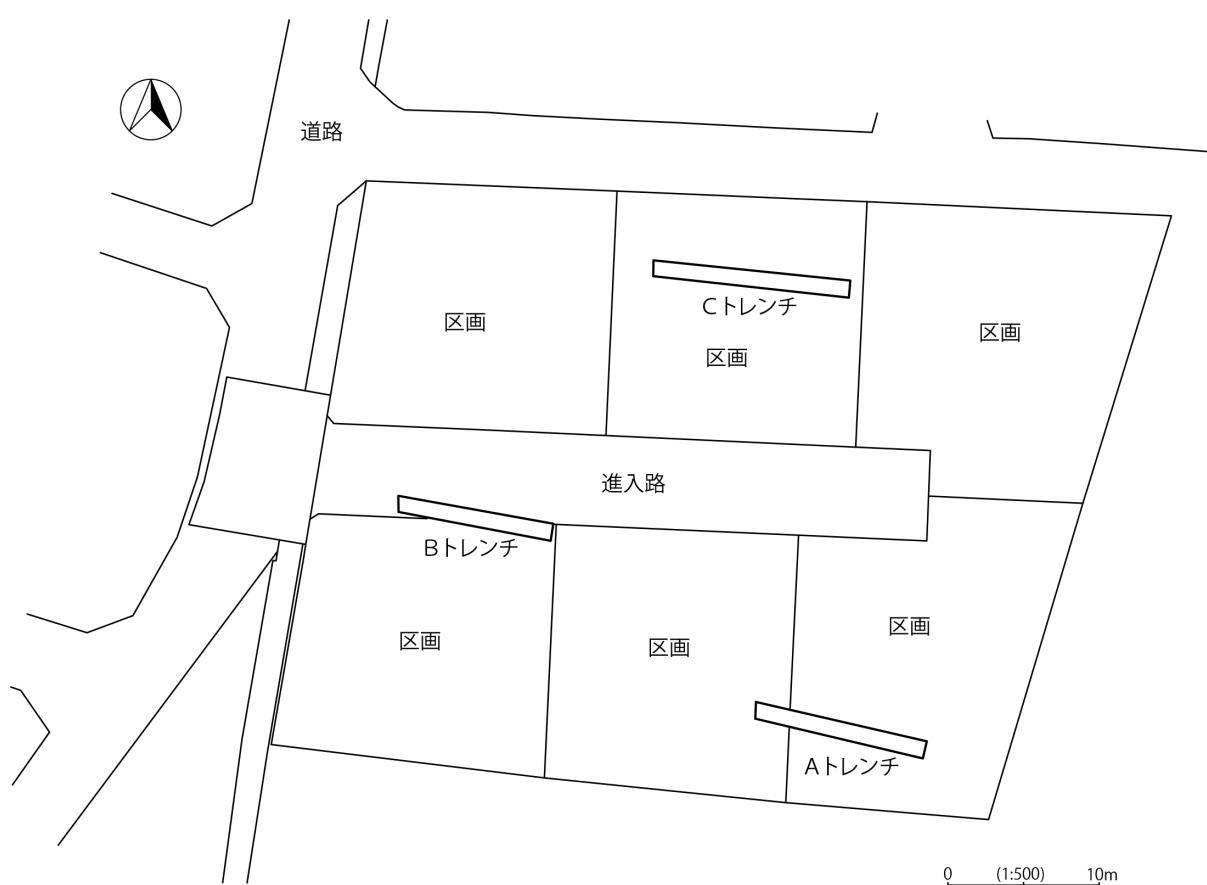
B トレンチは敷地の西側で進入路が計画される付近に、東西方向に設定した。トレンチの規模は 10.2m × 1.1m で、地表下 30cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったが遺構は検出されなかった。遺物は黒曜石片 2 点検出した。

C トレンチは敷地の北側で東西方向に設定した。トレンチの規模は 13m × 1.1m で設定し、地表下 30cm まで掘り下げたところで、地山の面である黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構検出作業を行ったところ、トレンチの東端でピット（小穴）を 1 基検出した。このピットを調査したところ、縄文土器片を 3 点検出したため、縄文時代の遺構と考えられる。なお、トレンチ内から縄文土器片 1、土師器片 2 を検出した。

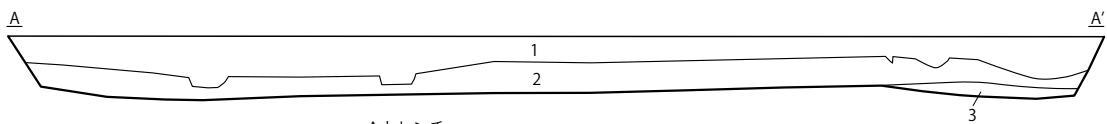
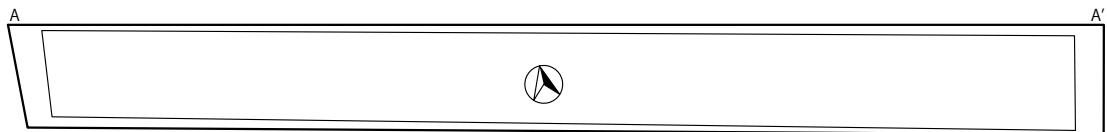
調査の結果、遺構は C トレンチから縄文時代のピットが 1 基検出された。遺跡の存在は認められるが、各トレンチ内から検出された遺物は小片で、摩耗がひどく判別が難しいため、多くは流れ込みと推定される。A、B トレンチでは遺構は検出されておらず、全体として遺構の分布は極めて薄い状況であると考えられる。このため、宅地造成の際しての本調査は実施しないこととし、個別の工事に際して対応を検討していくこととした。



調査対象位置図

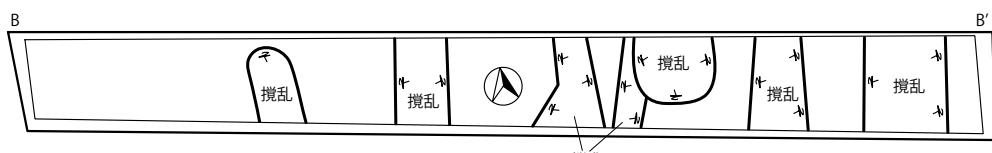


試掘トレンチ配置図



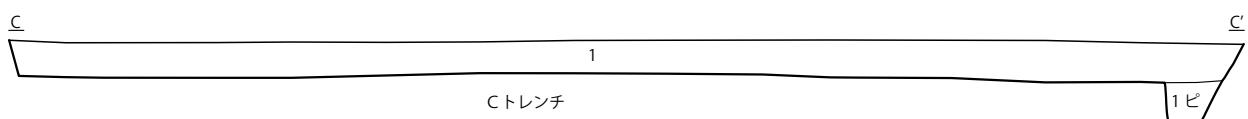
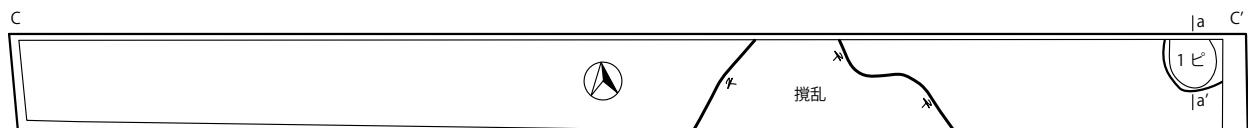
A トレンチ

1. 暗褐色砂質土 しまり、粘性弱。表土。
2. 暗黄褐色砂質土 1層土混じる。しまりあり、粘性弱。
3. 黄褐色砂質土 しまりやや強、粘性弱。地山。



B トレンチ

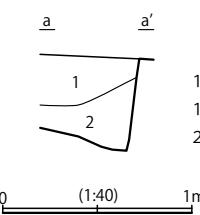
1. 暗褐色砂質土 しまり、粘性弱。表土。



C トレンチ

1. 暗褐色砂質土 しまり、粘性弱。表土。

0 (1:80) 2m



1ビ

1. 褐灰色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。黄褐色砂質土ブロック微量含む。
2. 褐灰色砂質土 しまりやや強、粘性ややあり。黄褐色砂質土ブロック微量含む。

0 (1:40) 1m

A～C トレンチ平面図



A トレンチ精査状況（東から）



A トレンチ土層断面（南から）



B トレンチ精査状況（東から）



B トレンチ土層断面（南から）



C トレンチ精査状況（東から）



C トレンチ土層断面（南から）



C トレンチ1ピット完掘（西から）



出土遺物

5 下三狐神遺跡

- (1) 所在地 甲州市塙山上井尻字宮ノ西 267, 字久保田 268
- (2) 調査面積 5m²
- (3) 調査期間 令和元年 9月 10 日～9月 13 日
- (4) 調査原因 農道・水路工事
- (5) 調査結果

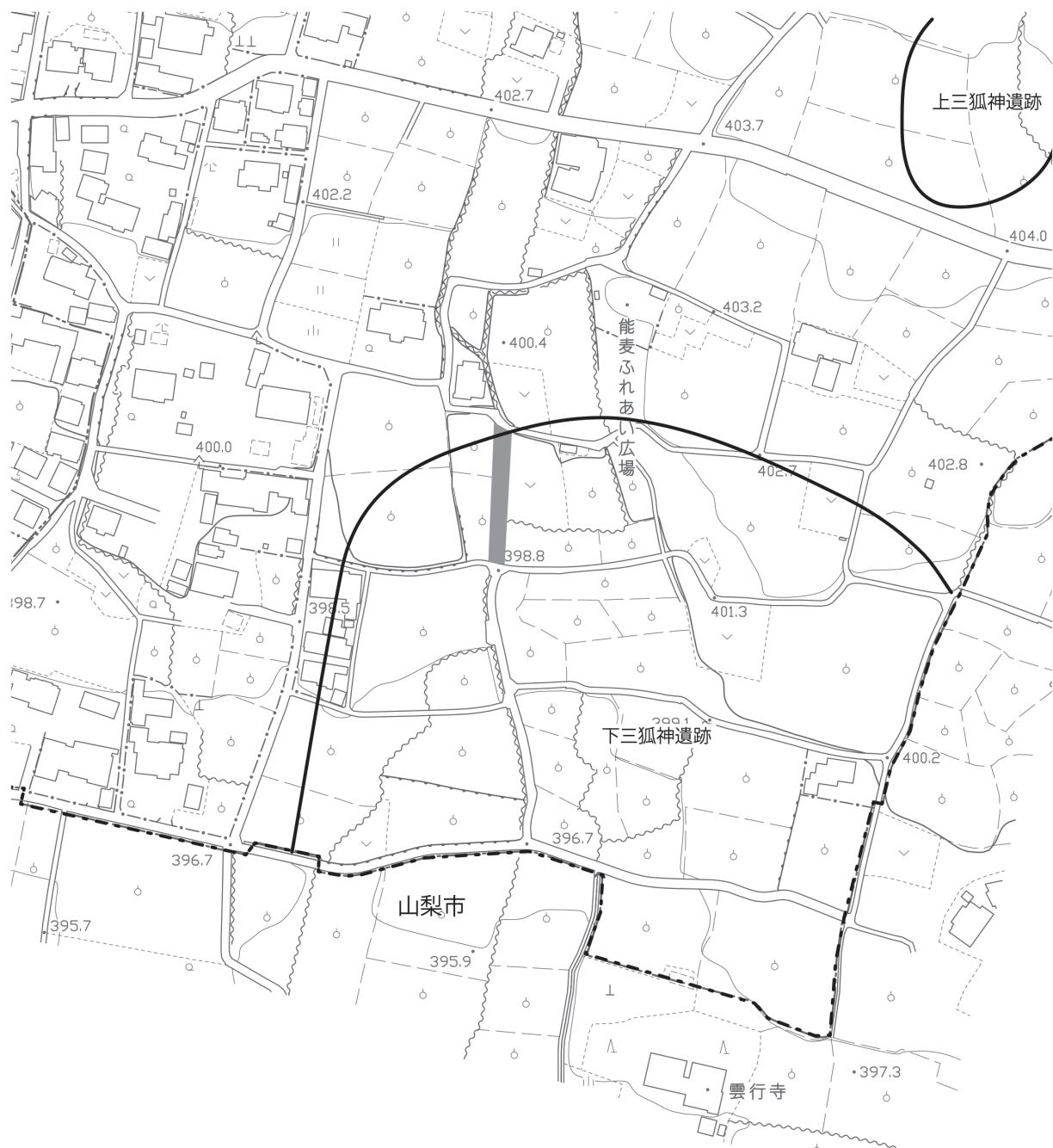
当地は埋蔵文化財包蔵地「下三狐神遺跡」の範囲内に含まれており、県営畠地帯総合整備事業の一環として農道および水路の改修工事が実施されることとなったため、事前に試掘調査を実施して遺跡の存在を確認することとした。

計画敷地内に 2か所のトレンチを設定し、調査を行った。

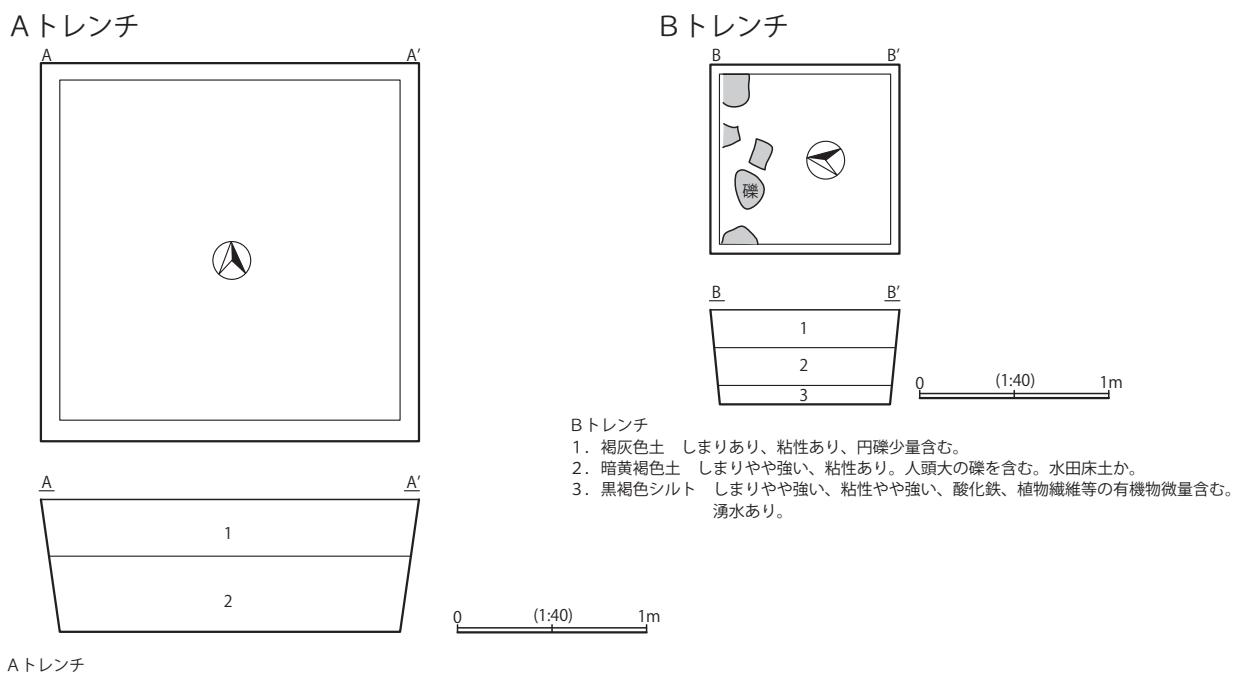
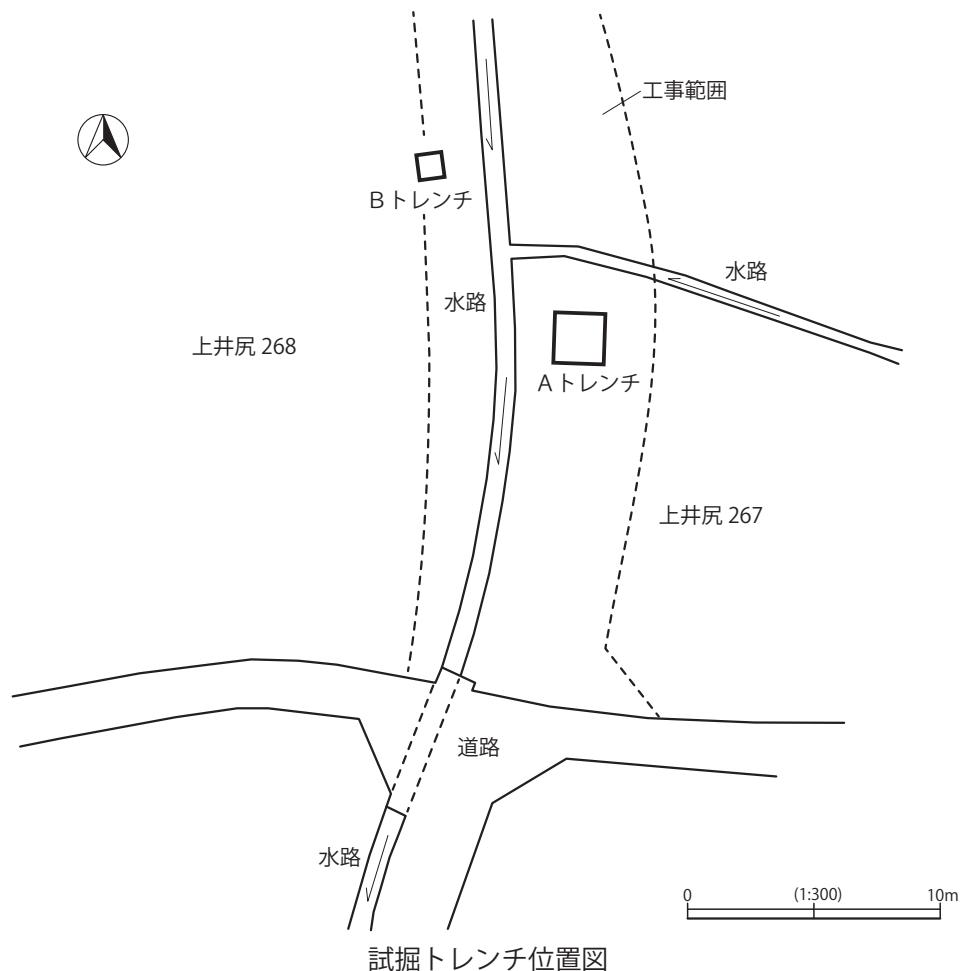
A トレンチは上井尻 267 番地の農道が新たに敷設される予定地内に設定した。トレンチの規模は 2.0m × 2.0m で、地表下 30cm まで掘り下げたところで、黒褐色粘質土層を検出した。この面で遺構を検出できなかったため、土層の確認を目的としてさらに地表下 70cm まで掘り下げて調査したが、遺構は検出されなかった。また、湧水が著しくこれより深く掘削して調査することは出来なかった。遺物は検出されておらず人為的な層とは思われないため、地山と判断される。遺物は表土（1 層）中から瓦片、磁器片、陶器片、土器片（土師質土器か）を数点検出した。

B トレンチは上井尻 268 番地の水路が拡張される予定地内に設定した。トレンチの規模は 1.0m × 1.0m で、地表下 40cm まで掘り下げたところで、A トレンチで確認された黒褐色粘質土層を検出した。この面で遺構検出作業を行ったところ、2 層中から人頭大の礫が検出されたが、遺構は検出されなかった。

調査の結果、A・B トレンチから遺構は検出されなかった。A トレンチの表土中から遺物が検出されたが、土器片が中世以前に遡る遺物である可能性があるものの、摩耗が著しく、周辺からの流れ込みと推定される。また、両方のトレンチから地山と考えられる黒褐色粘質土層が検出されている。この層は水を含んでおり、植物の纖維など有機質のものが残存しており、湿地を形成していたと考えられる。このため、下三狐神遺跡の遺構は周囲の微高地に展開していることが予想されるが、今回の工事対象地内は低平地であり、本調査は実施しないこととした。



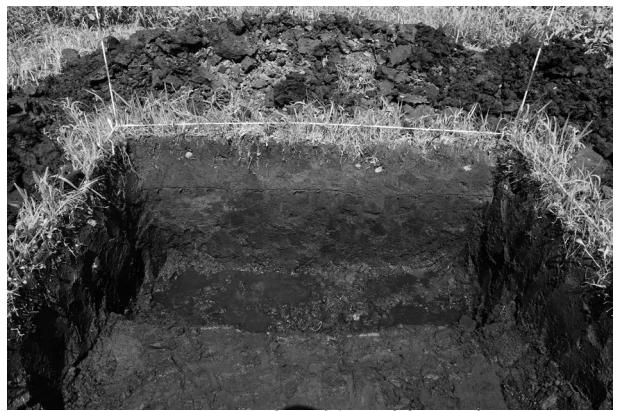
調査対象位置図



A・B トレンチ平断面図



A トレンチ精査状況（南から）



A トレンチ土層断面（南から）



B トレンチ精査状況（西から）



B トレンチ土層断面（西から）



A トレンチ出土遺物

6 蓮台原 550-1

(1) 所在地 甲州市塩山下塩後字蓮台原 550-1

(2) 調査面積 9.9m²

(3) 調査期間 令和元年 9月 24 日～9月 27 日

(4) 調査原因 宅地造成

(5) 調査結果

当地は埋蔵文化財の包蔵地外であるが、宅地造成の計画に伴い、事前に遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施することとした。

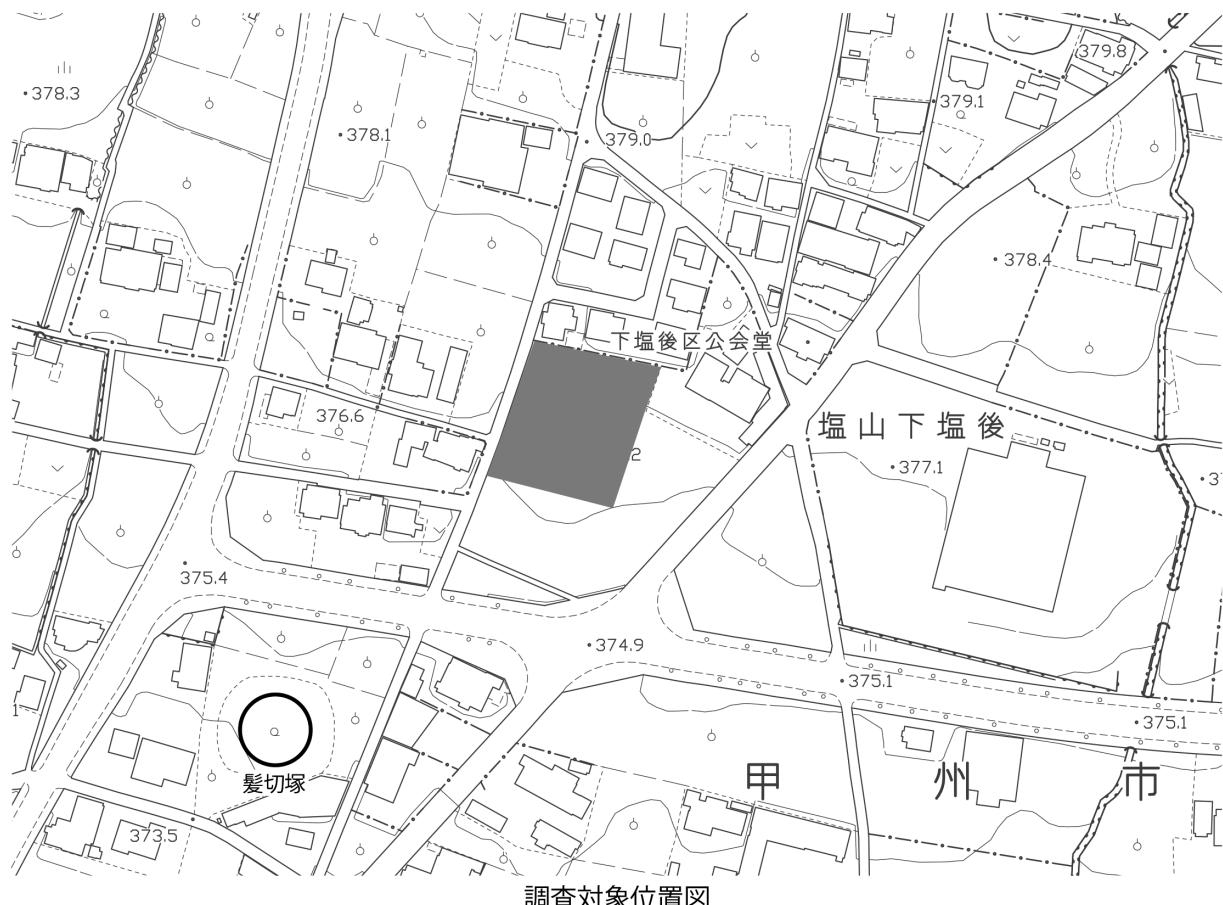
計画敷地内の進入路予定地内に 3か所のトレンチを設定し、調査を行った。

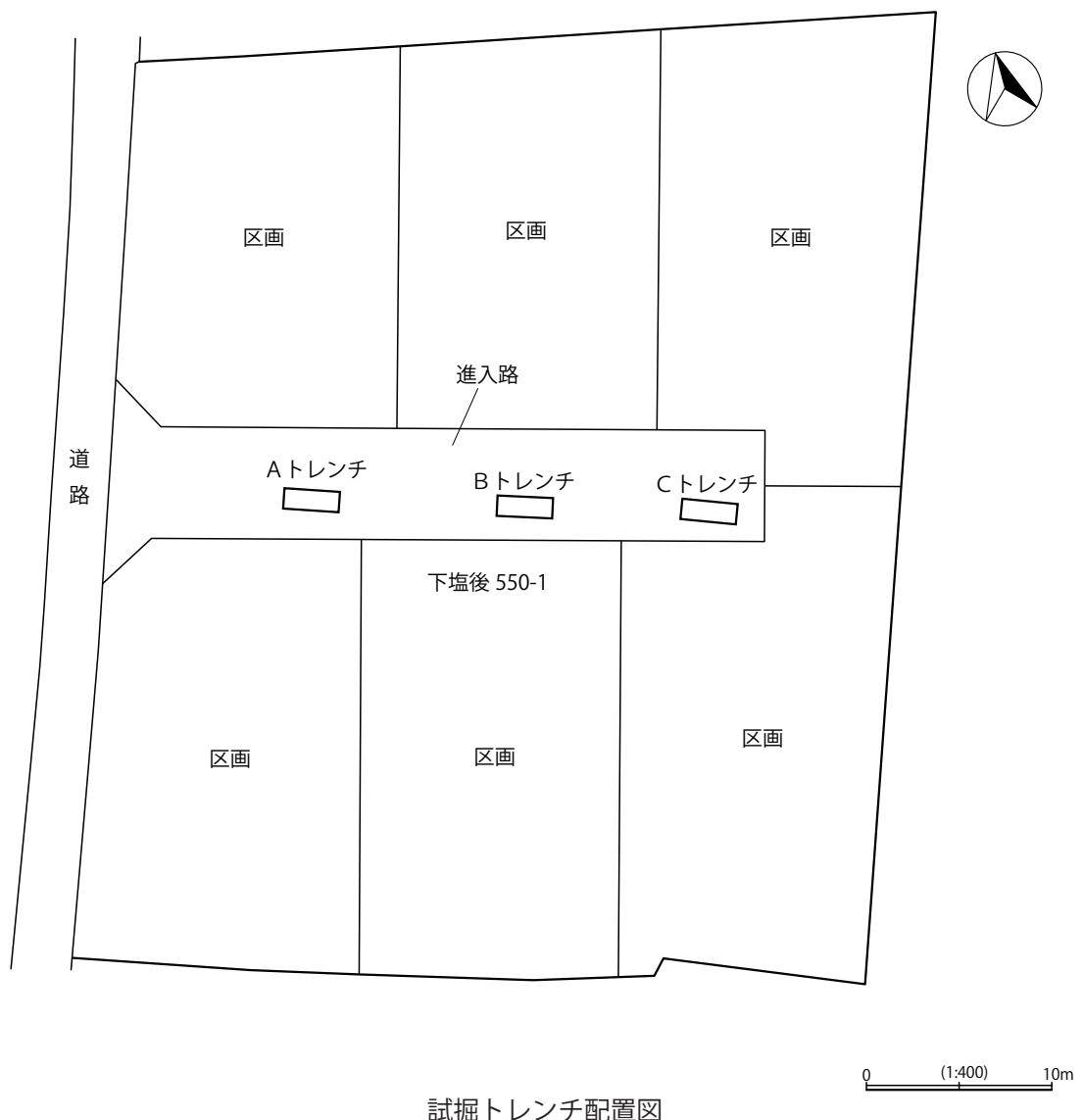
A トレンチの規模は 3.0m × 1.1m で、地表下 30cm まで掘り下げたところで、地山と判断される黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構精査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

B トレンチの規模は 3.0m × 1.1m で、地表下 30cm まで掘り下げたところで、地山と判断される黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構精査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

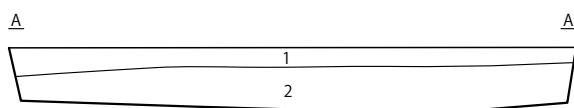
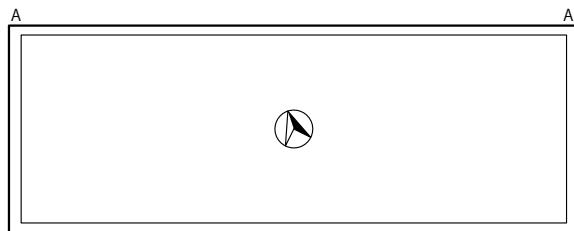
C トレンチの規模は 3.0m × 1.1m で、地表下 40～50cm まで掘り下げたところで、地山と判断される黄褐色砂質土を検出したため、この面で遺構精査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

調査の結果、どのトレンチからも遺構・遺物は検出されず、当地内に遺跡は存在しないと判断されるため、本調査は実施しないこととした。



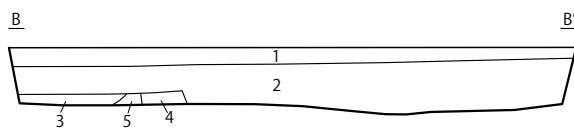
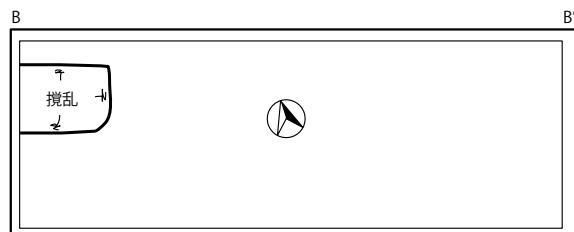


試掘トレンチ配置図



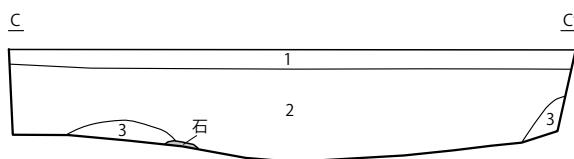
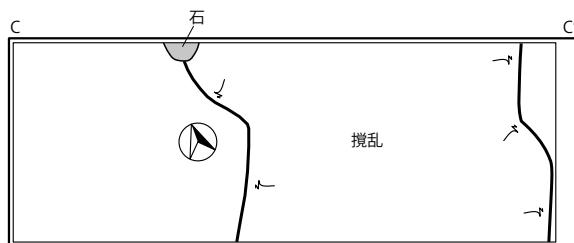
A トレンチ

1. 暗褐色砂質土 しまり、粘性ややあり。
2. 暗黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。暗黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。



B トレンチ

1. 暗褐色砂質土 しまり、粘性ややあり。
2. 暗黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。
3. 暗褐色砂質土 しまり強い。
4. 暗褐色砂質土 しまり強い。
5. 黄褐色砂質土 しまり強い。地山



C トレンチ

1. 暗褐色砂質土 しまり、粘性ややあり。
2. 暗黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。
3. 黄褐色砂質土 しまり強い。地山

0 (1:40) 1m

A～C トレンチ平断面図



A ドレンチ精査状況（西から）



A ドレンチ土層断面（南から）



B ドレンチ精査状況（東から）



B ドレンチ土層断面（南から）



C ドレンチ精査状況（西から）



C ドレンチ土層断面（南から）

7 ケカチ遺跡

(1) 所在地 甲州市塩山下於曾字一ノ坪 873-1

(2) 調査面積 16.3m²

(3) 調査期間 令和元年 12月 2日～6日

(4) 調査原因 事務所建築

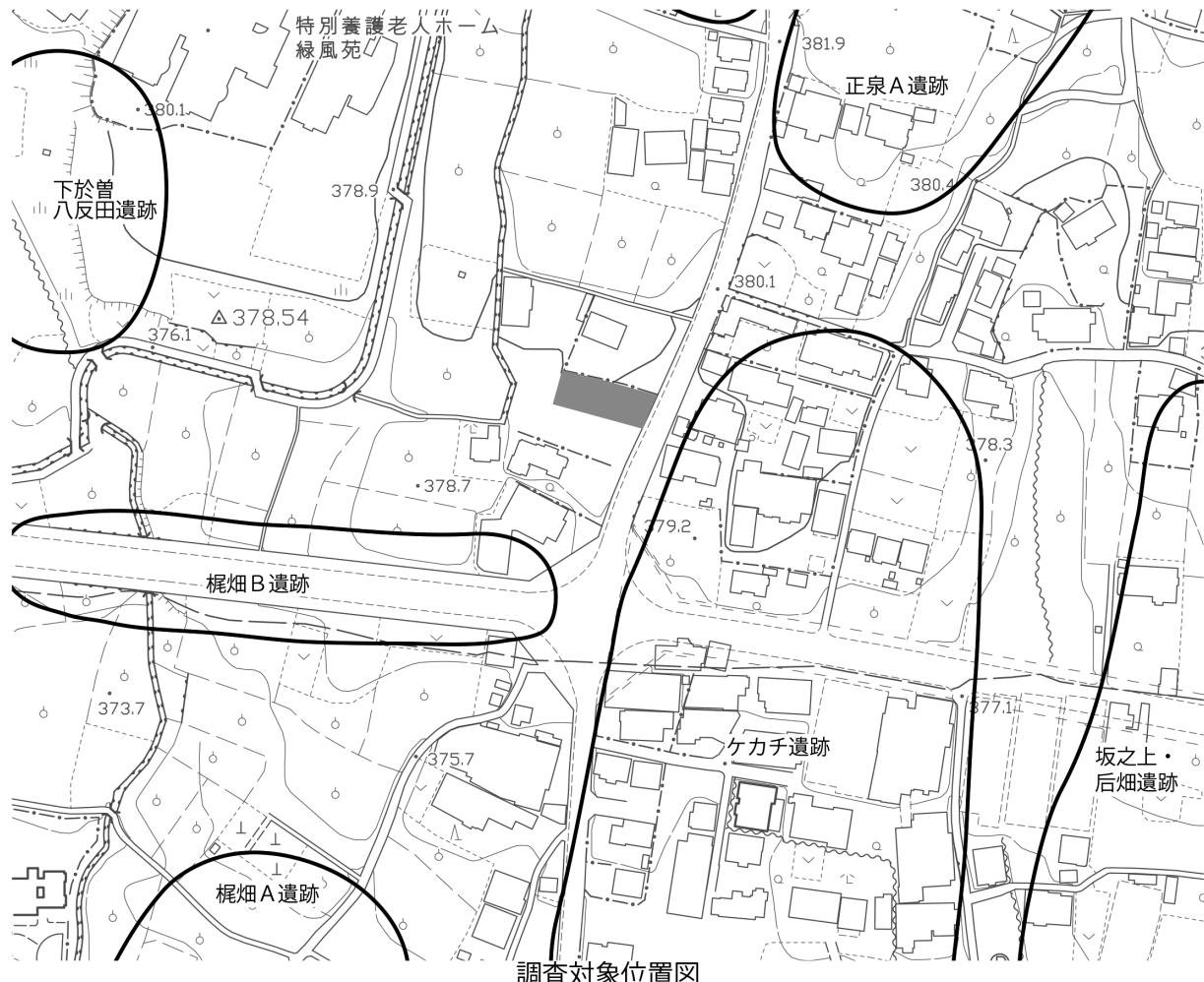
(5) 調査結果

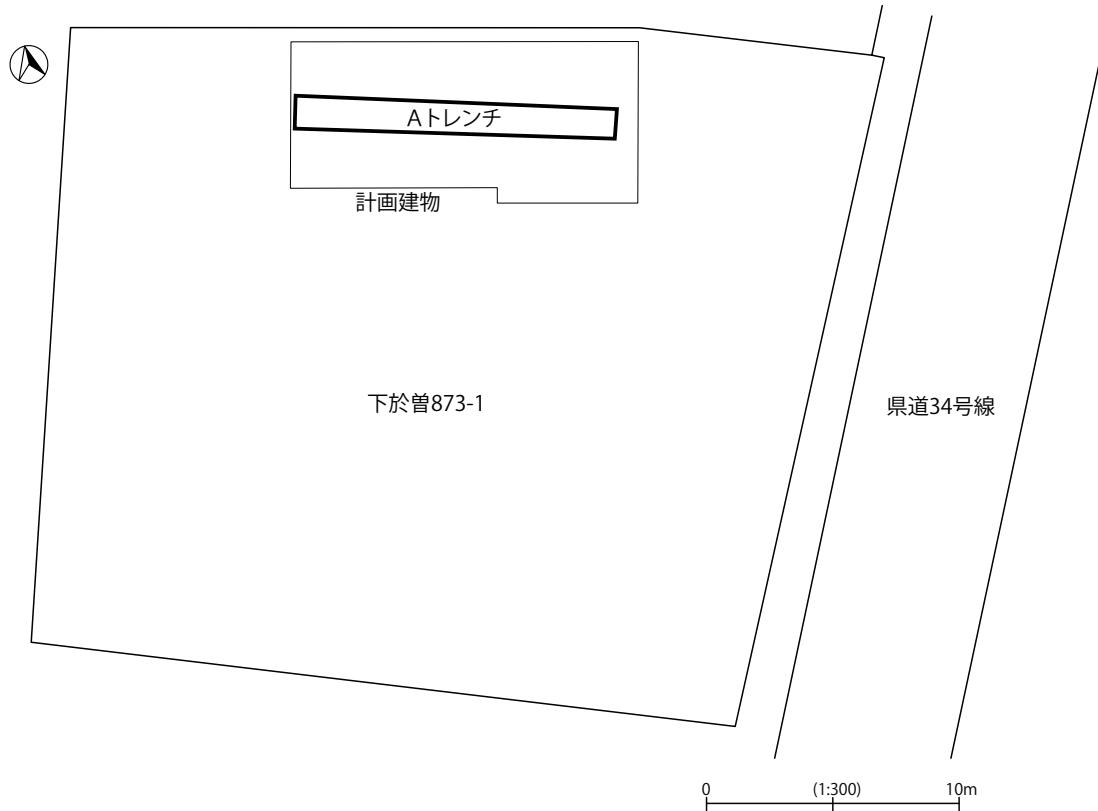
当地は埋蔵文化財包蔵地「ケカチ遺跡」に近接しており、新たに事務所の建築工事が実施されることとなつたため、事前に試掘調査を実施して遺跡の存在を確認することとした。

建物の計画範囲内に 1か所のトレンチ（A）を設定し、調査を行った。

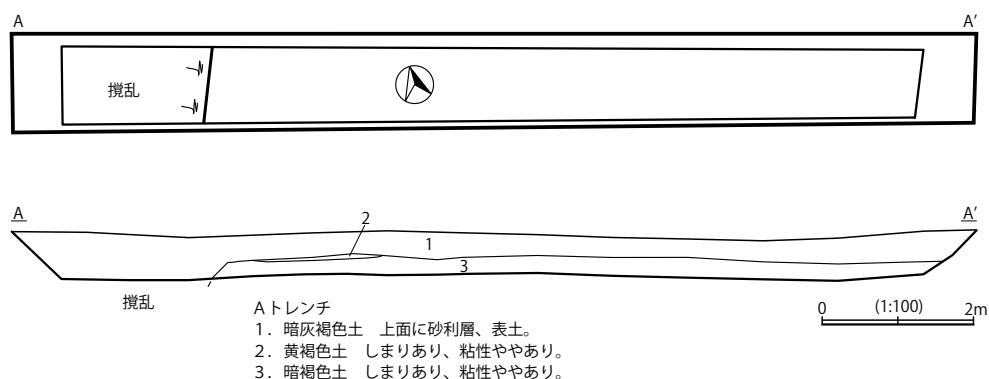
A トレンチは 12.6m × 1.3m、東西方向に設定した。設計で計画された掘削深度である地表下 50cm で遺構確認のための精査を行ったが、遺構は検出されなかった。遺物は表土中および搅乱から土器片（土師器か）、磁器片を数点検出した。土器は摩耗が著しく、流れ込みと判断される。

調査の結果、建物の計画範囲に遺跡の存在を確認することは出来なかった。また計画される掘削深度では下層に遺跡が存在したとしても、その保存に影響を与えるないと判断されることから、本調査は実施しないこととした。





試掘トレンチ配置図



A トレンチ平断面図



A トレンチ精査状況（東から）



A トレンチ土層断面（南から）



出土遺物

8 西田遺跡

(1) 所在地 甲州市塩山西広門田字芦原田 267-6

(2) 調査面積 7.2m²

(3) 調査期間 令和元年 12月 19日～20日

(4) 調査原因 個人住宅

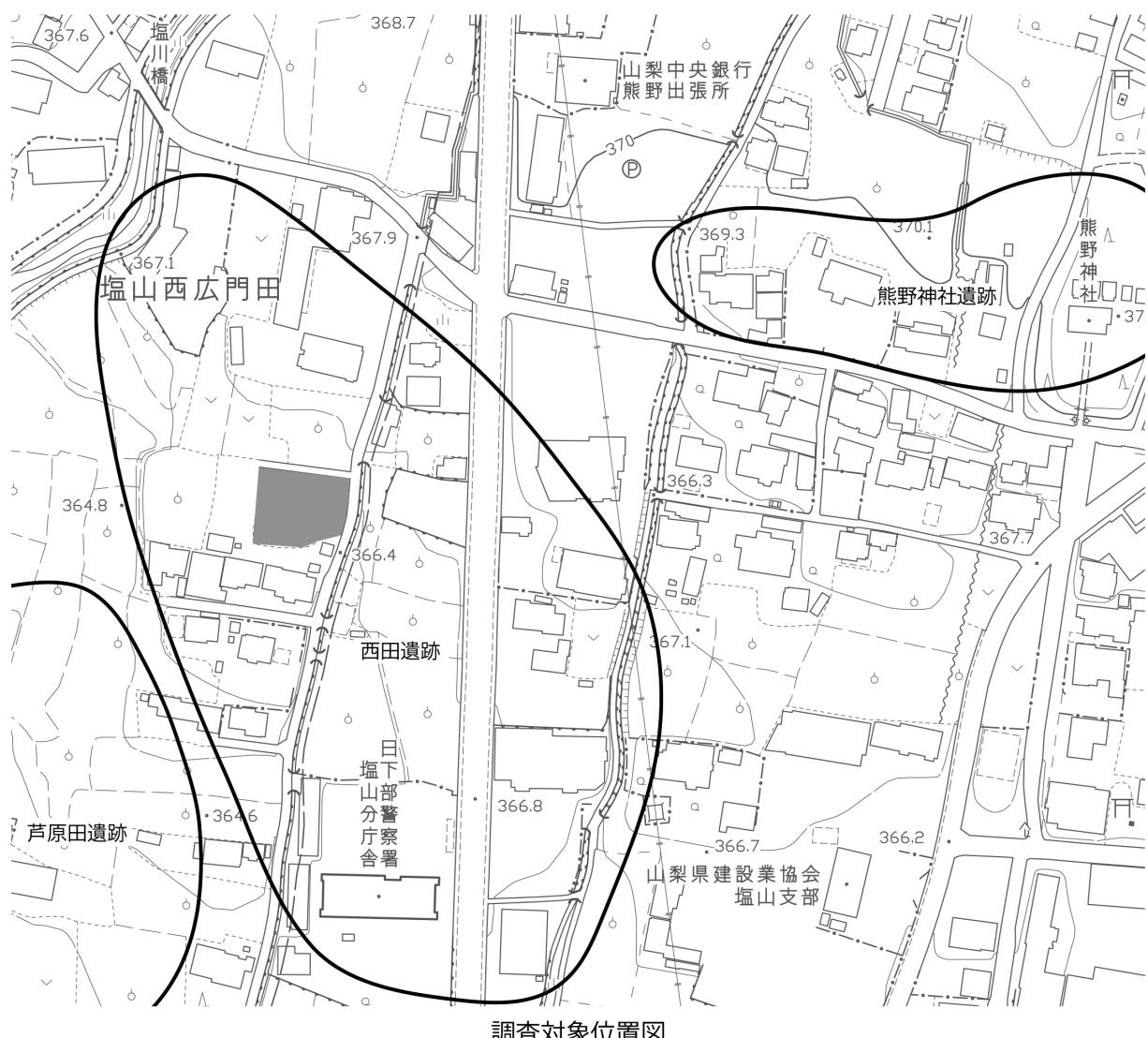
(5) 調査結果

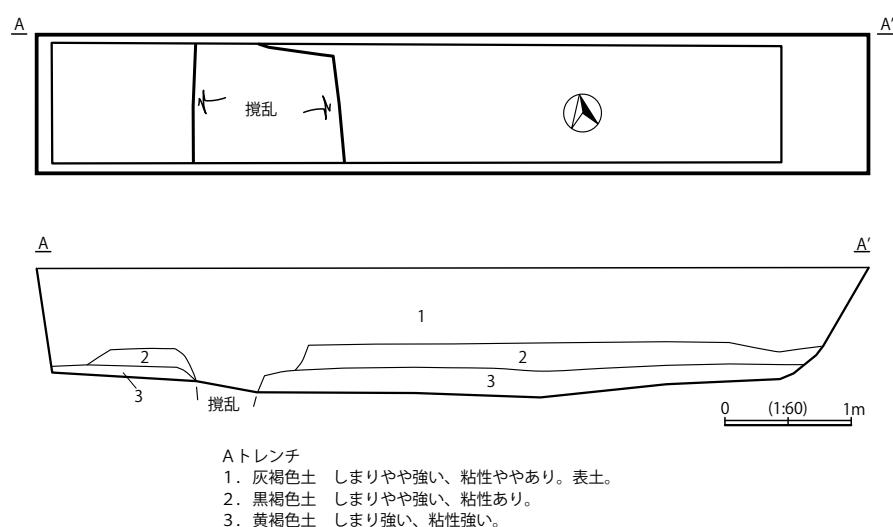
当地は埋蔵文化財包蔵地「西田遺跡」の範囲内に含まれており、個人住宅建設のための地盤改良工事が実施されることとなったため、事前に試掘調査を実施して遺跡の存在を確認することとした。

建物の計画範囲内に1か所のトレンチ（A）を設定し、調査を行った。

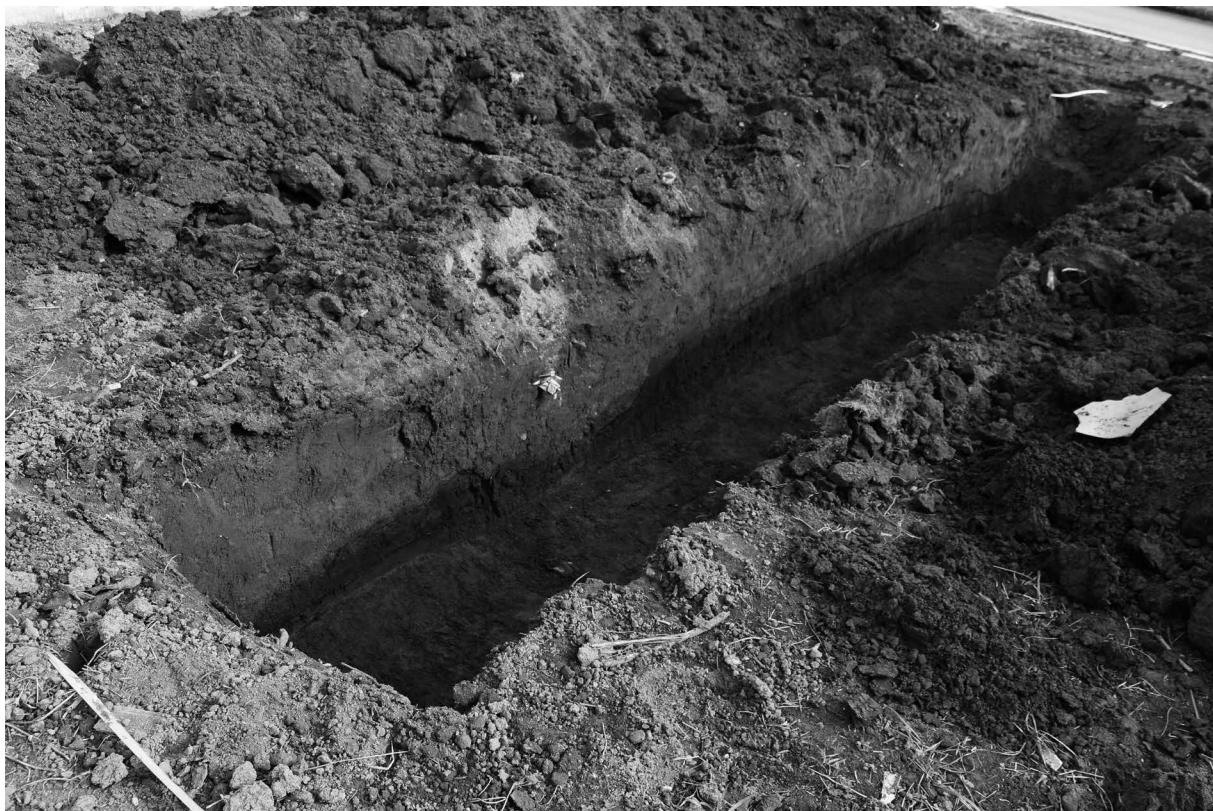
Aトレンチは6.6m×1.1m、東西方向を長手に設定した。地表下1mまで掘り下げたところで、遺構確認のための精査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

調査の結果、建物の予定範囲内から遺構・遺物とも確認されなかったため、本調査は実施しないこととした。





A トレンチ平面図



A トレンチ土層断面（南から）



A トレンチ精査状況（西から）

9 神戸A遺跡

(1) 所在地 甲州市塩山上萩原字神戸 2185-1 他

(2) 調査面積 99m²

(3) 調査期間 令和2年1月15日～31日

(4) 調査原因 ほ場整備工事

(5) 調査結果

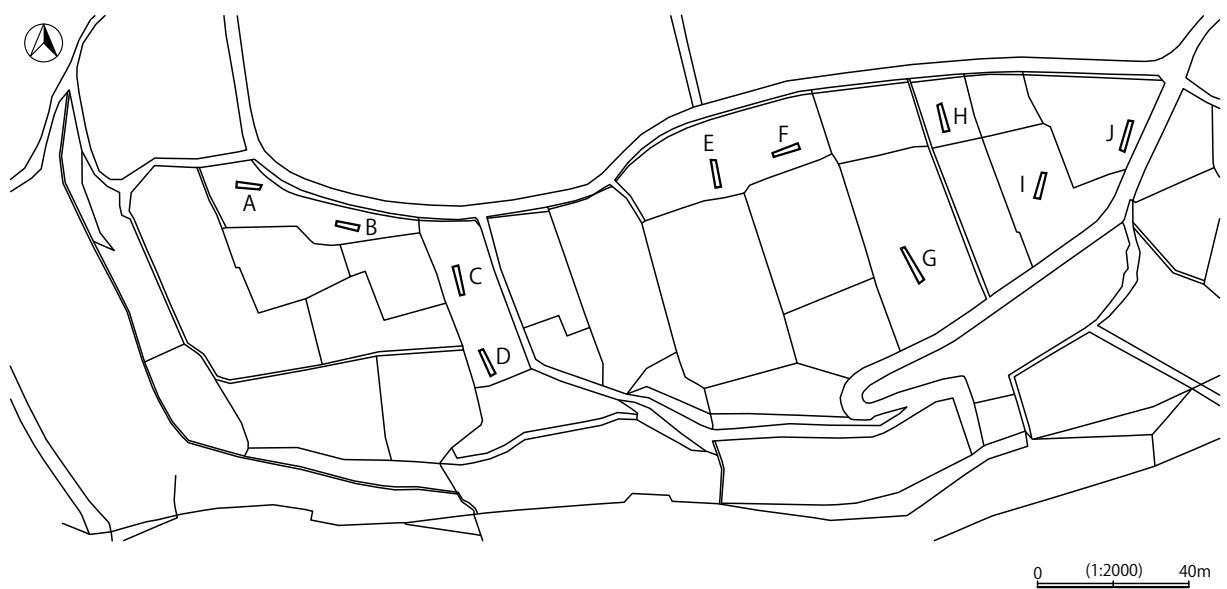
当地は埋蔵文化財包蔵地「神戸A遺跡」の範囲に近接しており、約20,000m²を対象としてほ場整備工事が行われることが計画されたため、遺跡の有無を確認するため、試掘調査を実施することとした。

ほ場整備工事が実施される範囲内で、10ヶ所のトレンチ（A～J）を設定して調査を行った。

いずれも黄褐色土を確認面として遺構精査を行った。G、Jトレンチから埋没した自然流路跡を確認した。Gトレンチの流路内から摩耗した土師器小片が出土している。これ以外のトレンチではいずれも遺構・遺物は検出されていない。

調査の結果、遺跡と考えられる遺構は検出されなかった。自然流路跡からわずかに土器片が出土しているが、流れ込みと推定される。以上のような状況から、近隣に遺跡が存在する可能性が示唆されるものの、当地内には遺跡の存在は確認できないため、本調査は実施しないこととした。

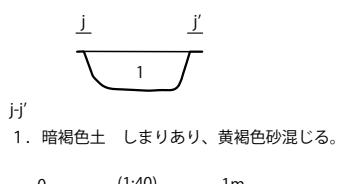
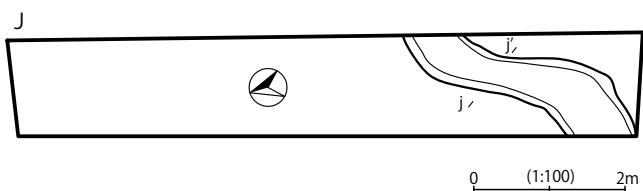
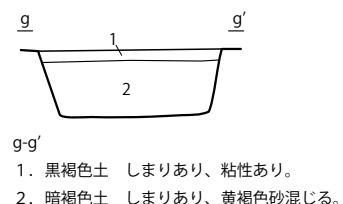
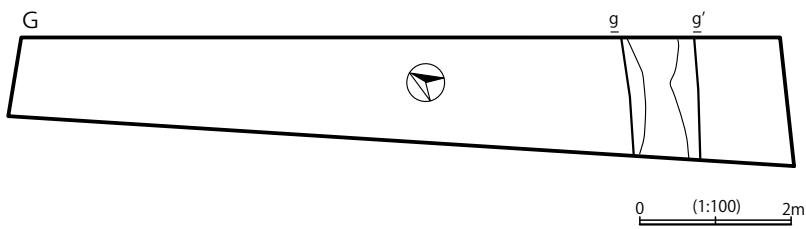




試掘トレンチ配置図

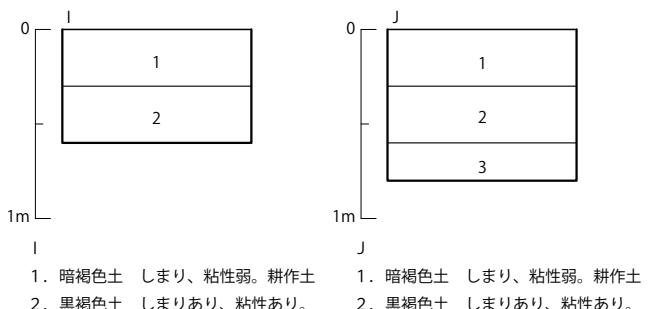
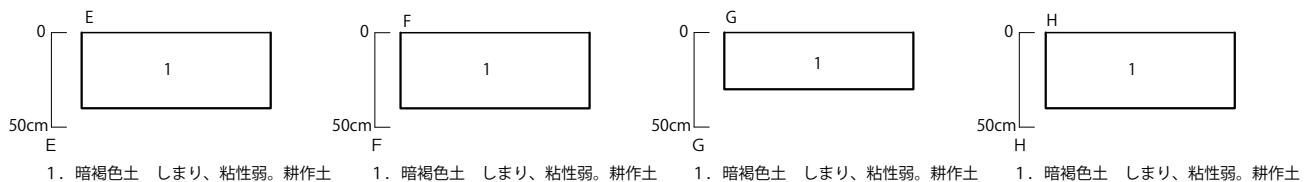
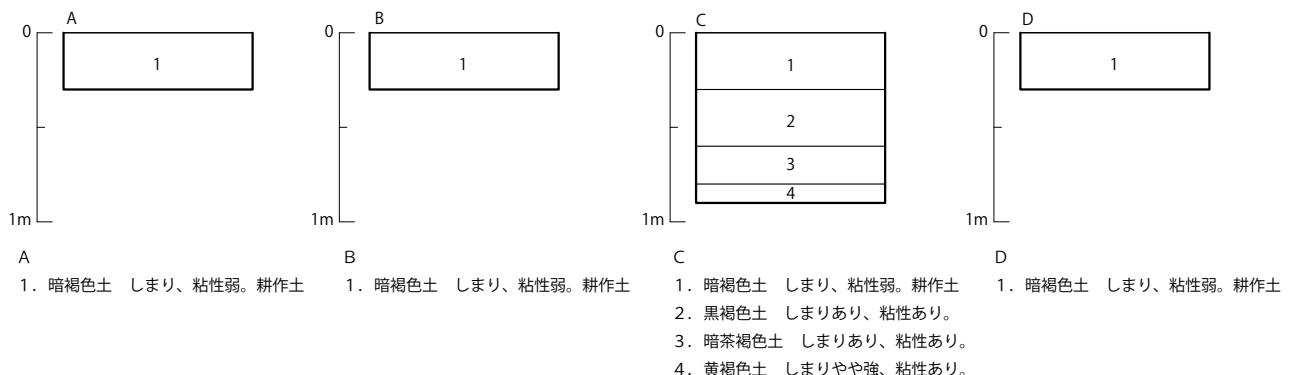
トレンチ一覧表

トレンチ	規 模 (m)			備 考
	長 さ	幅	深 さ	
A トレンチ	6.3	1.4	0.3	遺構・遺物なし
B トレンチ	5.9	1.3	0.3	遺構・遺物なし
C トレンチ	7.7	1.3	0.9	遺構・遺物なし
D トレンチ	7.2	1.3	0.3	遺構・遺物なし
E トレンチ	7.2	1.4	0.4	遺構・遺物なし
F トレンチ	7.2	1.3	0.4	遺構・遺物なし
G トレンチ	10.2	1.3	0.3	自然流路跡、 流路内から土器片
H トレンチ	7.3	1.4	0.4	遺構・遺物なし
I トレンチ	6.9	1.4	0.6	遺構・土器片
J トレンチ	8.2	1.3	0.8	自然流路跡、遺物なし



G・J トレンチ平面図

溝（自然流路）断面図



0 (1:40) 1m

A～J トレンチ土層柱状図



A ドレンチ (南から)



B ドレンチ (南から)



C ドレンチ (西から)



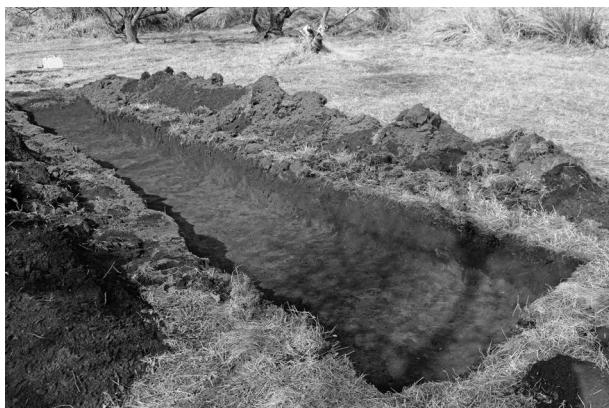
D ドレンチ (西から)



E ドレンチ (西から)



F ドレンチ (南から)



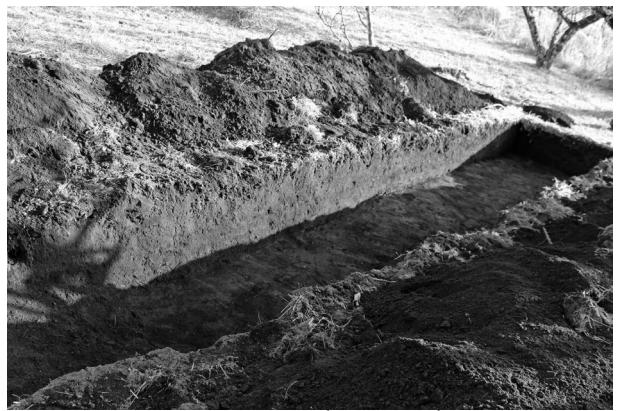
G ドレンチ (西から)



G ドレンチ流路跡 (西から)



H トレンチ（南東から）



I トレンチ（北西から）



J トレンチ（南から）



J トレンチ流路跡（西から）



出土遺物

10 町屋 1187-1 他

(1) 所在地 甲州市塩山上於曾字町屋 1187-1、1187-5

(2) 調査面積 6.9m²

(3) 調査期間 令和2年2月6日～20日

(4) 調査原因 ケアセンター建設

(5) 調査結果

当地は埋蔵文化財の包蔵地外であるが、ケアセンターの建設に伴い、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施することとした。

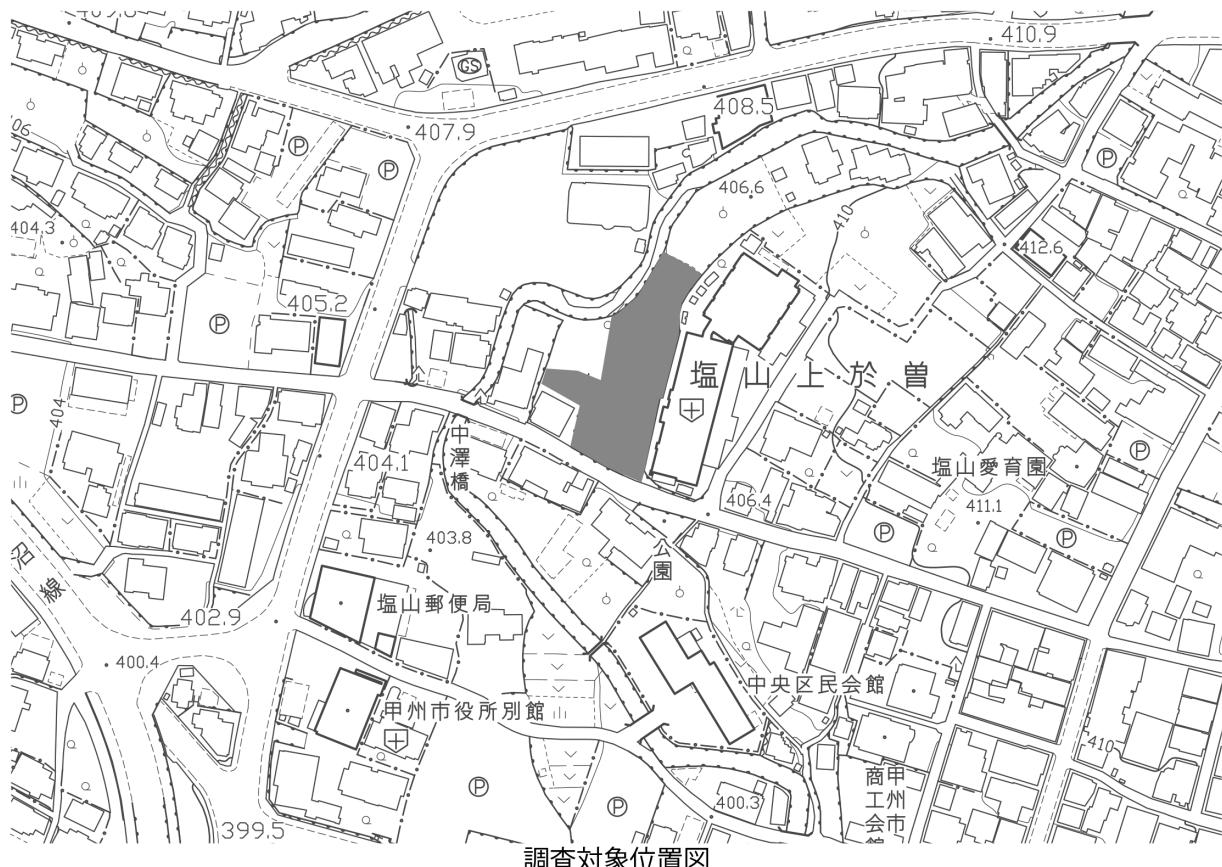
対象敷地内に2ヶ所のトレンチ（A・B）を設定して調査を行った。

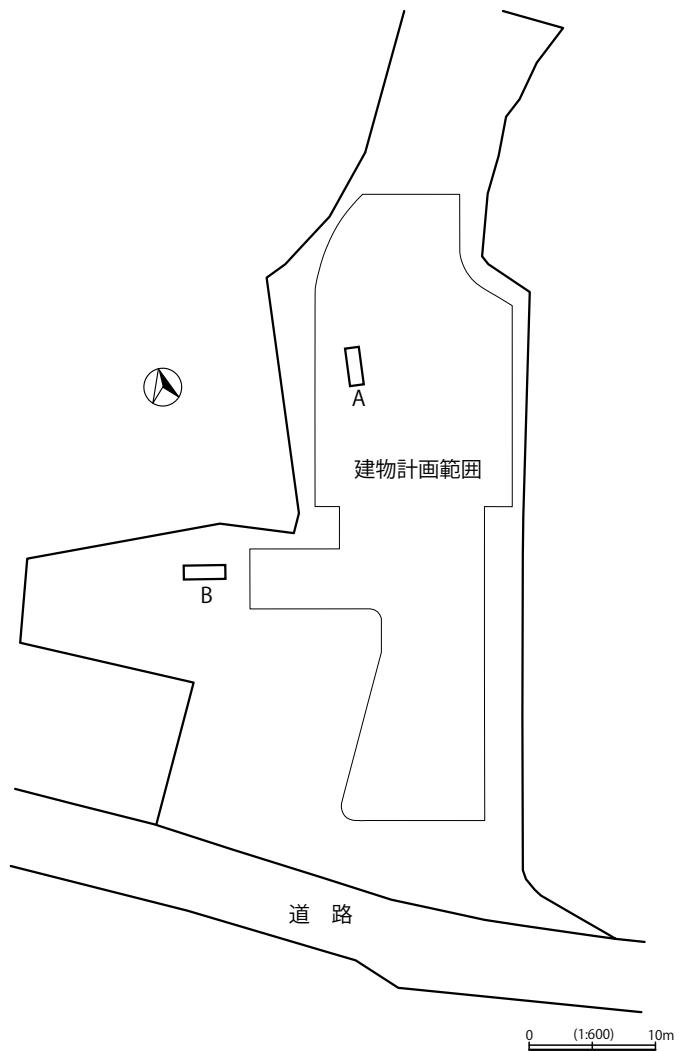
Aトレンチは敷地の北側に、南北方向に3.0m×1.1mで設定した。地表下約1.5mまで掘削したが、遺構・遺物は検出されなかった。

Bトレンチは敷地の西側に、東西方向に3.3m×1.1mで設定した。地表下約1.6mまで掘削したが、遺構・遺物は検出されなかった。

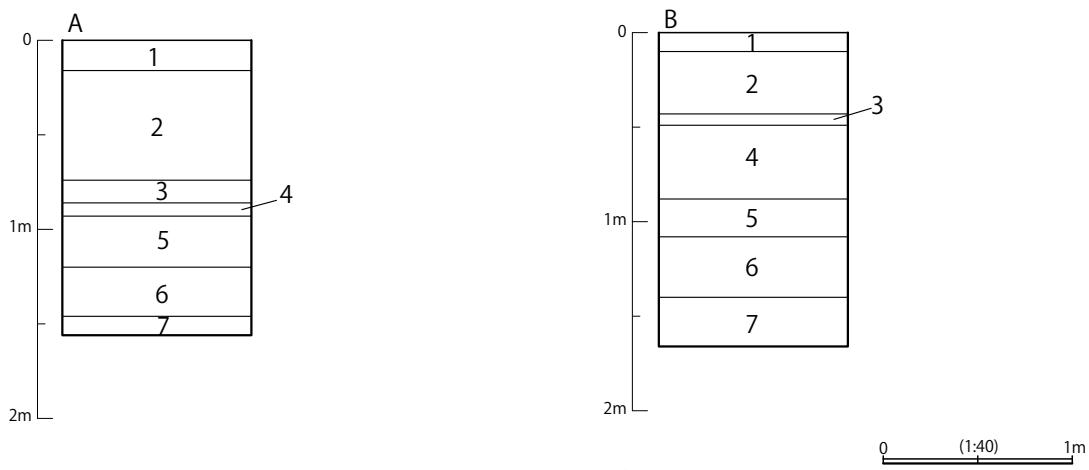
敷地の北側には塩川が隣接して流下しており、トレンチ内下層は粘質土、最下層からは礫が顯著にみられることから、元々当地は河川の範囲内であったことが窺える。その後、盛土を施して現況に至ったことが、Aトレンチ2層、Bトレンチ4層の盛土層によって裏付けられる。

調査の結果、当地内に遺跡は存在しないと判断されるため、本調査は実施しないこととした。



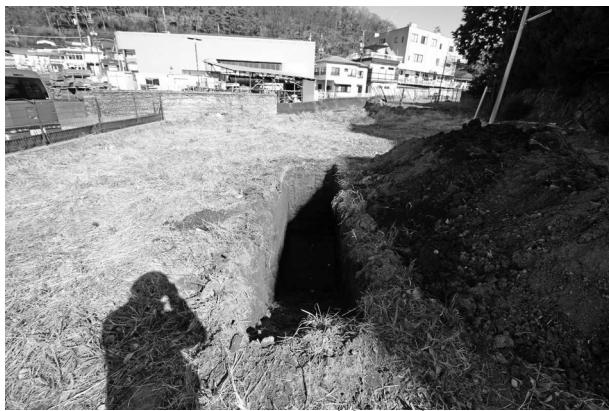


試掘トレンチ配置図



- A トレンチ**
- 明灰褐色土 しまり弱、砂地、表土。
 - 褐灰色土 しまりあり、茶褐色ブロック混じる、礫少量含む、盛土層。
 - 灰褐色土 しまりやや強。
 - 明灰褐色土 しまり弱、砂質。
 - 茶褐色土 しまり強、粘性あり、酸化鉄含む。粘質土。
 - 黒褐色土 しまり強、粘性あり、粘性土。
 - 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、礫含む。粘質土。
- B トレンチ**
- 明灰褐色土 しまり弱、砂地、表土。
 - 暗褐色土 しまりあり、粘性あり、炭化物、礫少量含む。
 - 明褐色土 しまりあり、粘性あり。水田床土か。
 - 褐灰色土 しまりあり、茶褐色ブロック混じる、礫少量含む、盛土層。
 - 茶褐色土 しまり強、粘性あり、酸化鉄含む。粘質土。
 - 黒褐色土 しまり強、粘性あり、粘性土。
 - 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、礫含む。粘質土。

A・B トレンチ土層柱状図



A テレンチ (南から)



A テレンチ精査状況 (東から)



A テレンチ土層断面 (東から)



B テレンチ (東から)



B テレンチ精査状況 (北から)



B テレンチ土層断面 (北から)

1.1 切付平 414-1 他

- (1) 所在地 甲州市塙山下塙後 414-1、417-1、419-1、420-1
- (2) 調査面積 13.2m²
- (3) 調査期間 令和 2 年 2 月 19 日～28 日
- (4) 調査原因 市道小原東東後屋敷線道路改良事業
- (5) 調査結果

当地の周辺には「住蓮木平遺跡」や「切付平塙」などの埋蔵文化財包蔵地が点在しており、道路建設に伴い、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施することとした。

対象敷地内に 4 ケ所のトレンチ (A～D) を設定して調査を行った。

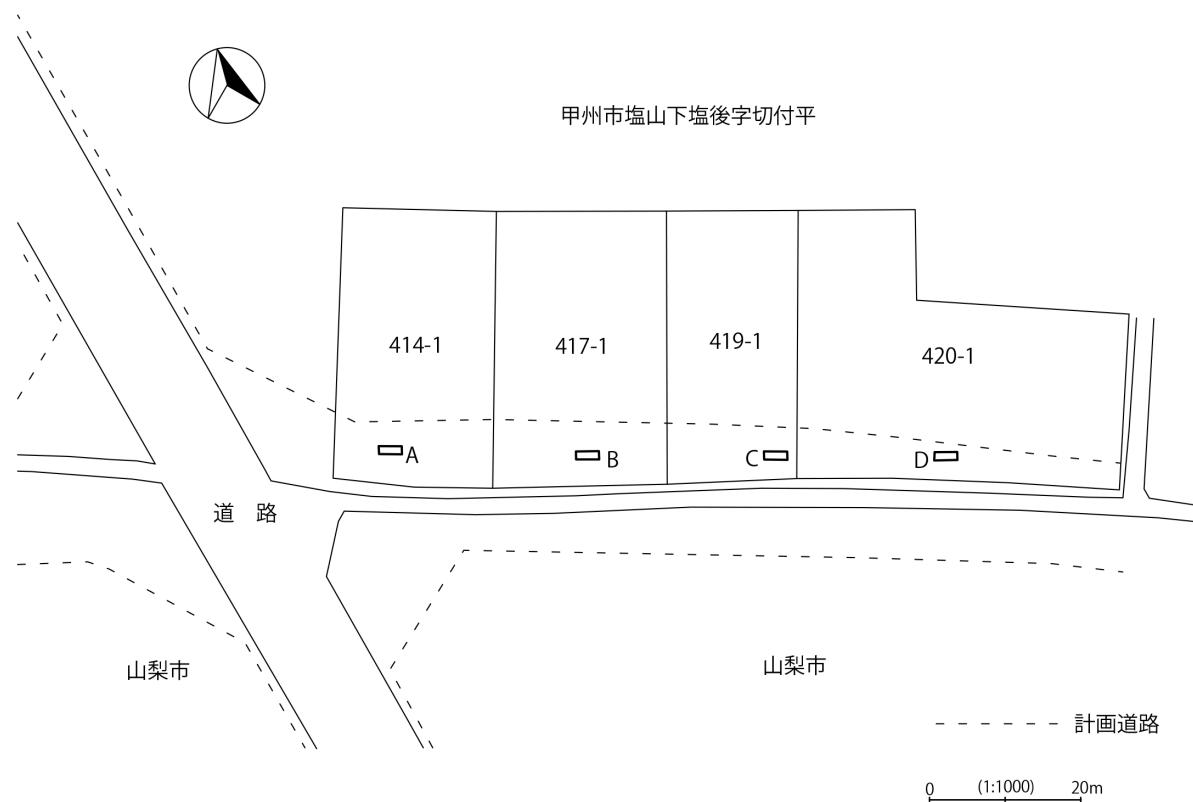
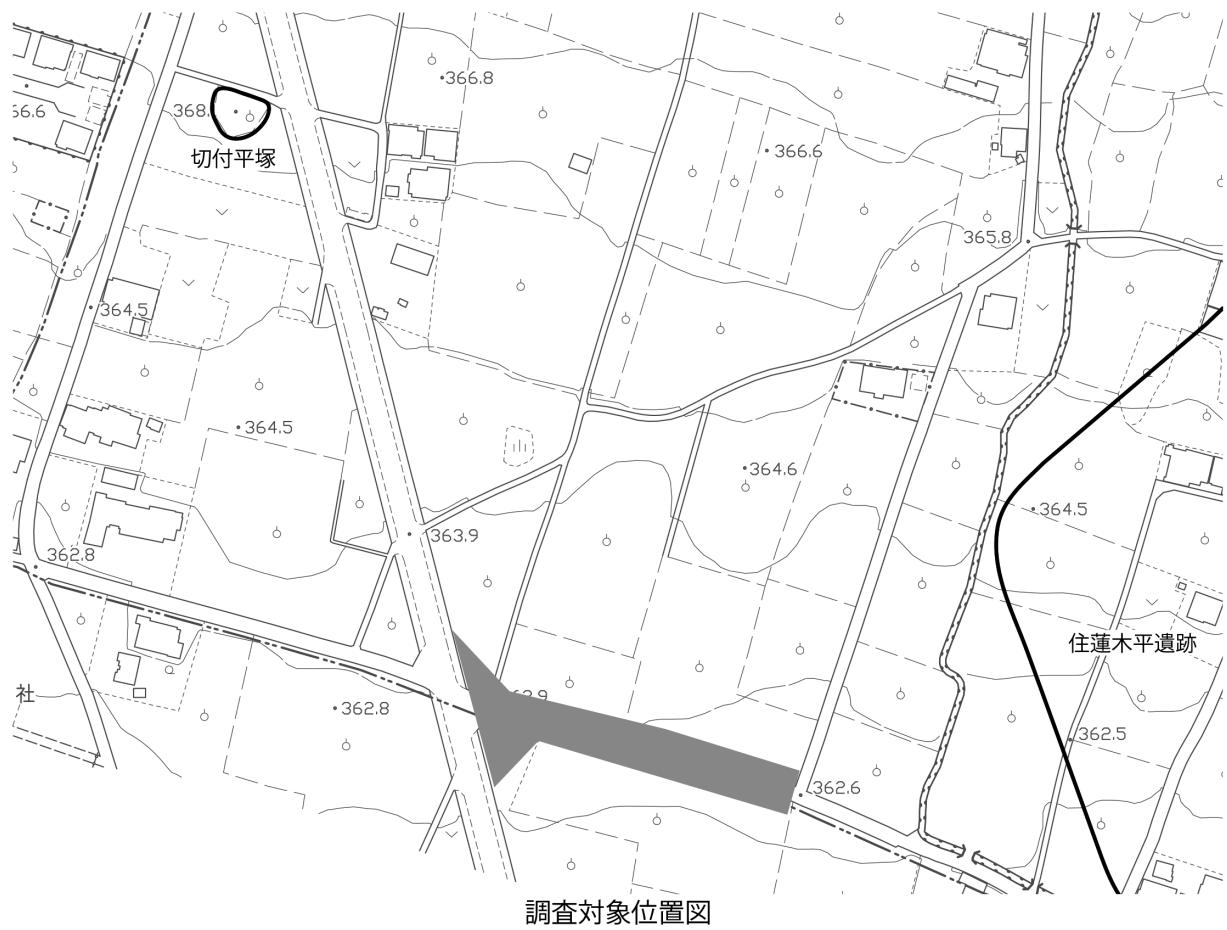
A トレンチは下塙後 414 番 1 地内に、3.0m × 1.1m で設定した。地表下約 0.5m まで掘削したが、遺構は検出されなかった。遺物は土器片（縄文）が出土している。

B トレンチは下塙後 417 番 1 地内に、3.0m × 1.1m で設定した。地表下約 0.5m まで掘削したが、遺構は検出されなかった。遺物は石器片（打製石斧？）が出土している。

C トレンチは下塙後 419 番 1 地内に、3.0m × 1.1m で設定した。地表下約 0.5～0.6m まで掘削したが、遺構は検出されなかった。遺物は出土していない。

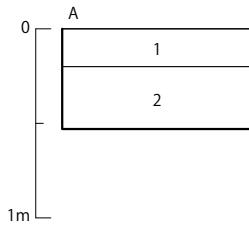
D トレンチは下塙後 420 番 1 地内に、3.0m × 1.1m で設定した。地表下約 0.5～0.6m まで掘削したが、遺構は検出されなかった。遺物は土器片（縄文）が出土している。

調査の結果、縄文土器片などの遺物は認められるものの、遺構は認められない。遺物はいずれも小片で、表土中からの出土であり遺構に伴うものではない。このため、付近に遺跡の存在が考えられるものの、当地内では遺跡の存在を示す証左は得られなかったため、本調査は実施しないこととした。



試掘トレンチ配置図

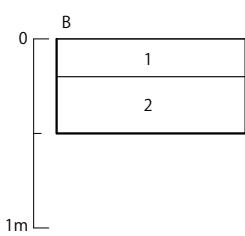
A トレンチ



A トレンチ

1. 暗褐色土 しまりあり、粘性弱、表土。
2. 暗褐色土 しまりややあり、粘性弱、茶褐色土・黄褐色土ブロック混じる。

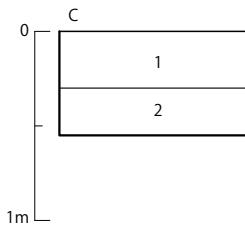
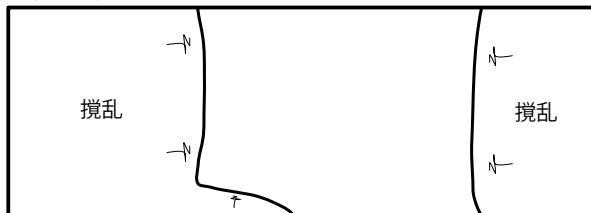
B トレンチ



B トレンチ

1. 暗褐色土 しまりあり、粘性弱、表土。
2. 暗褐色土 しまりややあり、粘性弱、茶褐色土・黄褐色土ブロック混じる。

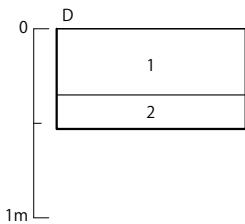
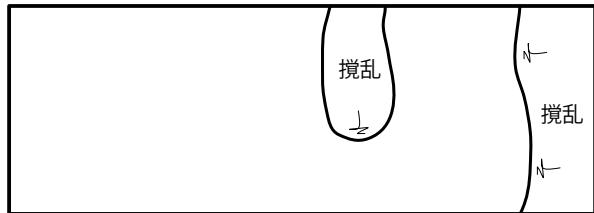
C トレンチ



C トレンチ

1. 暗褐色土 しまりあり、粘性弱、表土。
2. 暗褐色土 しまりややあり、粘性弱、茶褐色土・黄褐色土ブロック混じる。

D トレンチ

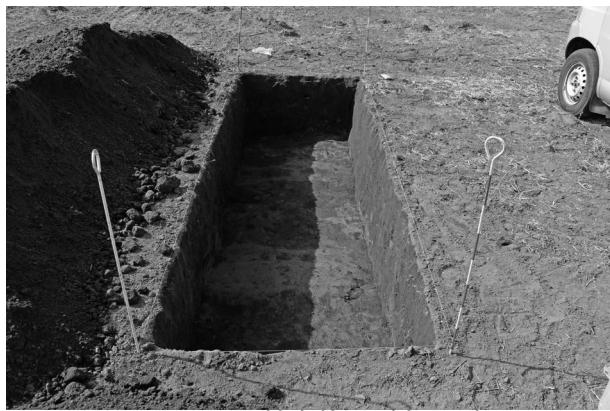


D トレンチ

1. 暗褐色土 しまりあり、粘性弱、表土。
2. 暗褐色土 しまりややあり、粘性弱、茶褐色土・黄褐色土ブロック少量混じる。

A～D トレンチ平面図・土層柱状図

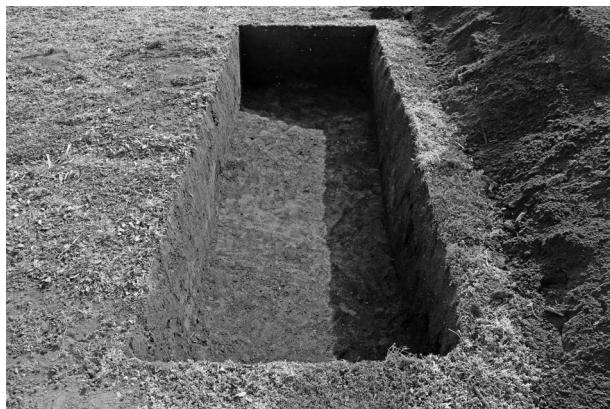
0 (1:40) 1m



A トレンチ精査状況（東から）



B トレンチ精査状況（西から）



C トレンチ精査状況（西から）



D トレンチ精査状況（東から）



1.2 五反田遺跡

- (1) 所在地 甲州市塩山熊野字五反田 440-1、字横井 562-1、-2、570
- (2) 調査面積 10.6m²
- (3) 調査期間 令和2年3月23日～24日
- (4) 調査原因 倉庫・事務所建設
- (5) 調査結果

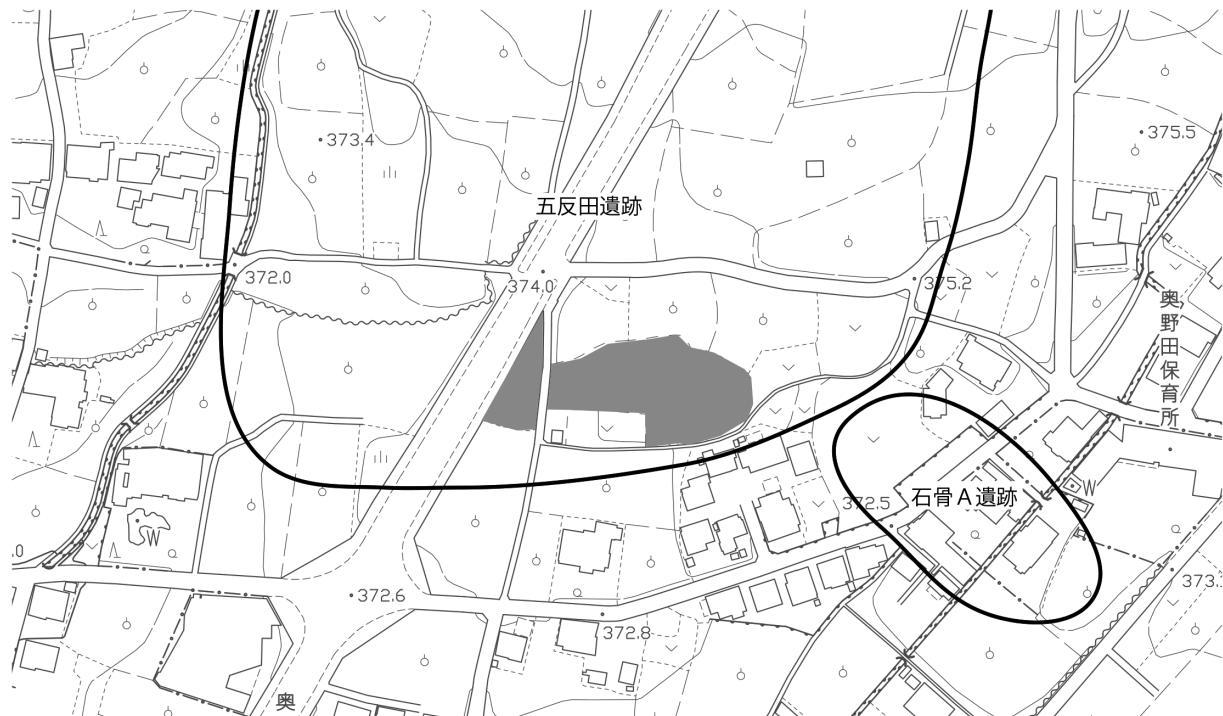
当地は埋蔵文化財包蔵地「五反田遺跡」の範囲に含まれており、倉庫および事務所の建設が計画されたため、事前に試掘調査を実施して遺跡の残存状況を確認することとした。

対象敷地内に1ヶ所のトレンチ（A）を設定して調査を行った。

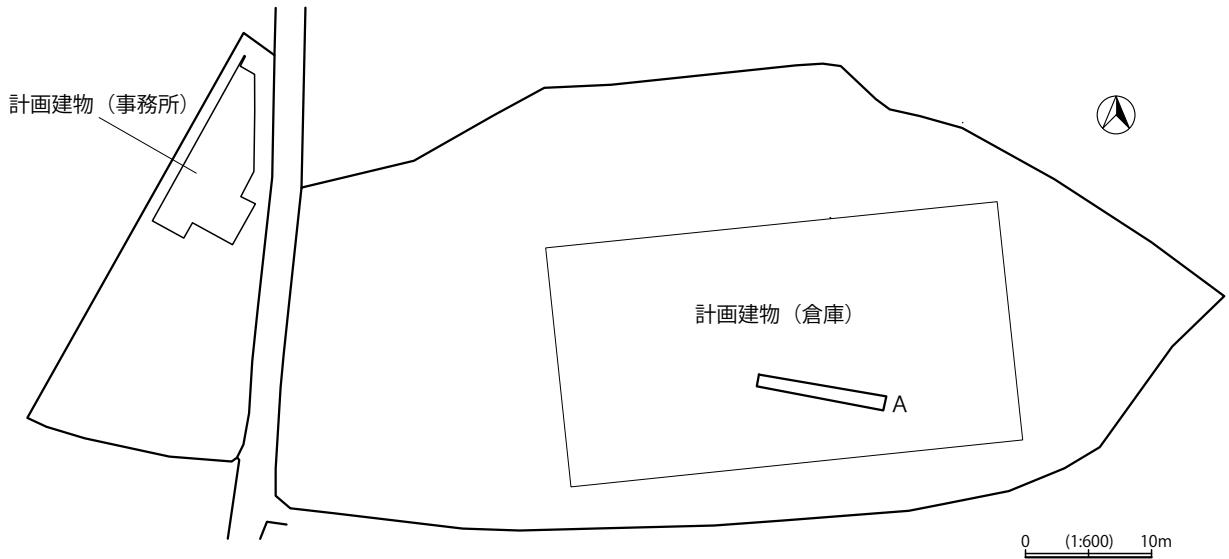
現地は掘削前に地表面を観察したところ、旧地表面から40～50cmほど高くなっている、盛土が施されていることが確認された。

Aトレンチは倉庫の建設が予定されている範囲内に、10.2m×1.1mで設定した。盛土層を除去し、地表下約80cmまで掘削したところ、黄褐色砂質土（3層）が面的に検出されたため精査を行ったが、遺構は検出されなかった。下位の土層確認のため一部深掘を行い、地表下1.2mまで掘削を行ったところ、地山と考えられる暗黄褐色砂（5層）が検出されたため、精査を実施した黄褐色砂質土は水田床土等の人為層であることが確認された。この5層上面においても遺構・遺物とも検出されなかった。

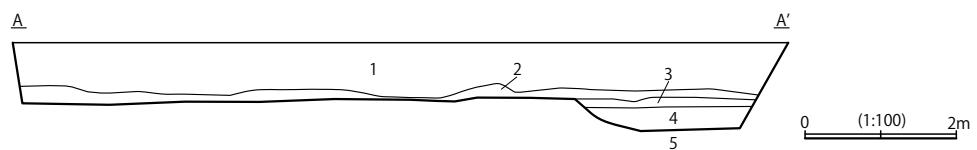
調査の結果、遺構および遺物は確認されなかったため、本調査は実施しないこととした。事務所計画部分については、試掘調査で確認することが出来なかつたため、工事時に職員による立会を実施し、遺跡の残存状況確認を行う。



調査対象位置図



試掘トレンチ配置図



Aトレンチ

1. 盛土層 上半は茶褐色土、下半は褐灰色土 しまりあり、粘性あり、礫多量含む。
2. 褐灰色砂質土 しまりあり、粘性ややあり、小礫少量含む。旧表土・耕作土。
3. 黄褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり、水田床土。
4. 暗褐色砂質土 しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗黄褐色砂 しまりあり、粘性弱。地山。

Aトレンチ平断面図



A トレンチ精査状況（南東から）



A トレンチ土層断面（南から）

報 告 書 抄 錄

ふりがな	れいわがんねんどしないいせきはっくつちょうさとうじぎょうほうこくしょ
書名	令和元年度市内遺跡発掘調査等事業報告書
シリーズ名	甲州市文化財調査報告書
シリーズ番号	第31集
編著者名	入江俊行
編集機関	甲州市教育委員会
所在地	〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1 電話 0553-32-5076
発行年月日	令和3年3月26日

ふりがな	ふりがな	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ほうしょういん 法正院 1406-1 他	こうしゅうしえんざんかみねぞあざ 甲州市塩山上於曾字 ほうしょういん 法正院 1406-1、1407-1	19213	なし	35° 42' 26"	138° 43' 57"	令和元年 6月25日～ 26日	14.35m ²	宅地造成
むこうばら 向原 888-1	こうしゅうしえんざんしもしこあざ 甲州市塩山下塩後字 むこうばら 向原 888-1	19213	なし	35° 41' 45"	138° 43' 11"	令和元年 7月30日～ 8月2日	71.2m ²	サービス付 高齢者住宅
にしだいせき 西田遺跡	こうしゅうしえんざんかわだあざ 甲州市塩山西広門田字 あしさだ 芦原田 266-3、267-1	19213	塩 -6	35° 41' 28"	138° 43' 21"	令和元年 8月6日～ 16日	12m ²	宅地造成
みやのまえいせき 宮之前遺跡	こうしゅうしえんざんかみしおあざ 甲州市塩山上塩後字 みやのまえ 宮之前 584-1	19213	塩 -57	35° 42' 15"	138° 43' 2"	令和元年 9月3日～ 6日	38.2m ²	宅地造成
しもさんこじんいせき 下三狐神遺跡	こうしゅうしえんざんかみいじりあざ 甲州市塩山上井戸字 みやのにし 宮之西 267 くぼた 久保田 268	19213	塩 -67	35° 42' 28"	138° 42' 30"	令和元年 9月10日～ 13日	5m ²	農道・ 水路工事
れんだいばら 蓮台原 550-1	こうしゅうしえんざんしもしおあざ 甲州市塩山下塩後字 れんだいばら 蓮台原 550-1	19213	なし	35° 41' 48"	138° 42' 53"	令和元年 9月24日～ 27日	9.9m ²	宅地造成
けかちいせき ケカチ遺跡	こうしゅうしえんざんしもしおあざ 甲州市塩山下於曾字 いちのつば 一ノ坪 873-1	19213	塩 -28	35° 41' 44"	138° 43' 36"	令和元年 12月2日～ 6日	16.3m ²	事務所建築
にしだいせき 西田遺跡	こうしゅうしえんざんかわだあざ 甲州市塩山西広門田字 あしさだ 芦原田 267-6	19213	塩 -6	35° 41' 28"	138° 43' 21"	令和元年 12月19日～ 20日	7.2m ²	個人住宅
こうどえいせき 神戸A遺跡	こうしゅうしえんざんかみはぎはらあざ 甲州市塩山上秋原字 こうど 神戸 2185-1 他	19213	塩 -167	35° 43' 44"	138° 46' 58"	令和2年 1月15日～ 31日	99m ²	ほ場整備工事
まちや 町屋 1187-1 他	こうしゅうしえんざんかみねぞあざ 甲州市塩山上於曾字 まちや 町屋 1187-1、1187-5	19213	なし	35° 42' 27"	138° 43' 40"	令和2年 2月6日～ 20日	6.9m ²	ケアセンター 建設
きつけだいら 切付平 414-1 他	こうしゅうしえんざんしもしおあざ 甲州市塩山下塩後字 きつけだいら 切付平 414-1 他	19213	なし	35° 41' 25"	138° 42' 51"	令和2年 2月19日～ 28日	13.2m ²	市道建設
ごとんだいせき 五反田遺跡	こうしゅうしえんざんくまのあざ 甲州市塩山熊野字 ごとんだ 五反田 440-1 他	19213	塩 -30	35° 41' 33"	138° 43' 51"	令和2年 3月23日～ 24日	10.6m ²	倉庫・ 事務所建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
法正院 1406-1 他	包蔵地外	—	なし	なし
向原 888-1	包蔵地外	—	自然流路	縄文土器、土師器、磁器、瓦
西田遺跡	集落跡	縄文～奈良	なし	なし
宮之前遺跡	散布地	縄文	ピット	縄文土器、土師器、黒曜石
下三狐神遺跡	散布地	平安	なし	土師質土器、陶器、磁器、瓦
蓮台原 550-1	包蔵地外	—	なし	なし
ケカチ遺跡	集落跡	古墳～平安	なし	土師器、磁器
西田遺跡	集落跡	縄文～奈良	なし	なし
神戸 A 遺跡	散布地	中世	自然流路	土師器
町屋 1187-1 他	包蔵地外	—	なし	なし
切付平 414-1 他	包蔵地外	—	なし	縄文土器、石器
五反田遺跡	集落跡	古墳～平安	なし	なし

山梨県甲州市
 令和元年度市内遺跡発掘調査等事業報告書
 2021
 発行 甲州市教育委員会
 住所 山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1
 電話 0553-32-5076
 発行日 令和3年3月26日
 印刷 株式会社 峠南堂印刷所

